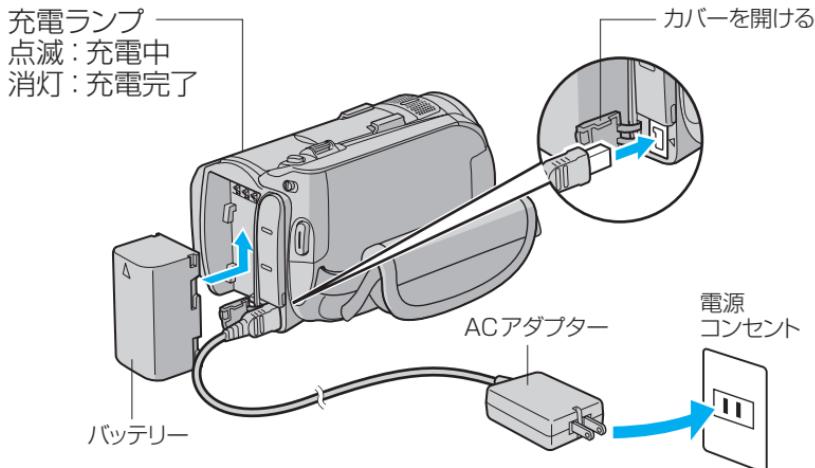
ハイビジョンハードディスクムービー

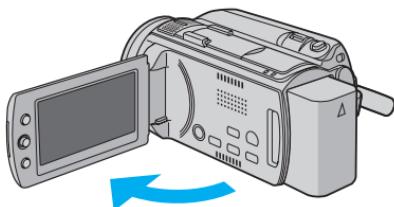
型名 GZ-HD40/GZ-HD30

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

「安全上のご注意」（P.12）および、「使用上のご注意」（P.14）は、
必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

写真はブラックタイプです。

ユーザー登録のおすすめ

製品のサポート情報、イベント情報等の提供サービスなどをご利用いただけます。
http://www.victor.co.jp/reg/

かんたん撮影ガイド

撮影前に充電しましょう

画面を開けると電源ON！

撮影が終わったら、画面を閉じます。

- **バッテリーは充電されていません。**
  まずは充電してからお使いください。

- **必ずビクター製のバッテリーをお使いください。**
  ビクター製以外のバッテリーをご使用になると、安全面、性能面について保証いたしかねます。

撮影の前に、バッテリーを充電し、時計を合わせます。
続いて、次のページで動画を撮影しましょう。

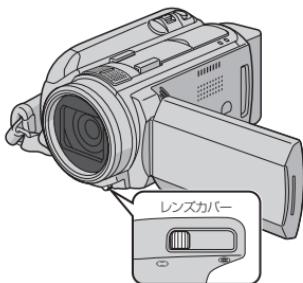
撮影または再生の準備をしましょう

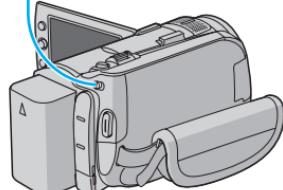
1 画面を開きます

•電源が入ります。

2 10秒以内に「はい」を選び、押して決定します

●メッセージが消えたとき
➡電源ボタンを2秒以上押して電源を切り、再び電源ボタンを2秒以上押して電源を入れます。

3 年を合わせ、押して決定します

•同様に、日付と時刻を合わせます。

●時計を合わせ直すとき
➡(P.77)

4 レンズカバーを開けます

5 動画(🎥)側にスライドします

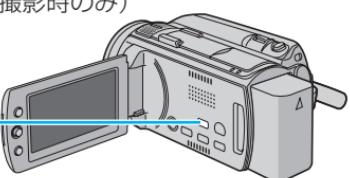
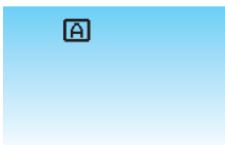
撮影しよう!

大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

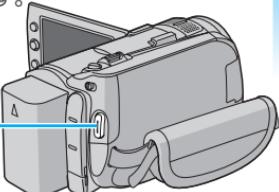
- **ハイビジョン記録には、2つの方式があります。**
  方式（ストリーム形式）については、P.6をご覧ください。
- **まずは、簡単な「オート」で撮影しましょう。**
  すべて自動で設定され、面倒な操作は必要ありません。

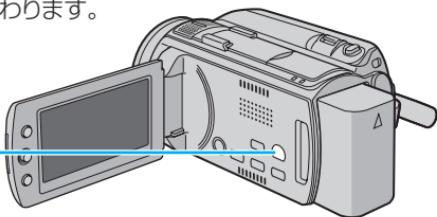
1 撮影を選びます

•押す度に、切り換わります。

（撮影の画面）

2 オート（AUTO）にします

•押す度に、切り換わります。
（撮影時のみ）

•オート撮影のマークを表示させます。

3 押して撮影します

•押すと、撮影を始めます。
•もう一度押すと、撮影を終えます。

再生しよう!

❶ 切換 再生/撮影

再生を選びます

•押す度に、切り換わります。

❷

撮影した動画を選びます

（インデックス画面）

❸

押します

•再生がスタートします。
•もう一度押すと、再生を終えます。

（再生画面）

■早送り、早戻しなどをするとき ➡(P.36)

■テレビで見るとき ➡(P.44)

撮影したら、こまめに保存しましょう!

●DVDに保存するとき➡(P.49)
●ビデオ機器にダビングするとき➡(P.64)
●作成したDVDを再生して確認するとき➡(P.58)

ハイビジョンの記録方式

記録方式を選びましょう

本機のハイビジョン記録には、2つの方式（ストリーム形式）があります。
用途に合わせてお選びください。

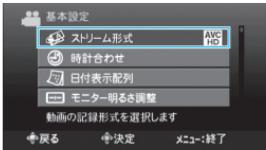
AVCHD
（お買い上げ時の設定です）

- 長時間、撮影したい。
- DVDディスクに保存して、ブルーレイレコーダーなどのAVCHD対応機器で再生したい。
- microSDカードに記録したい。
- 動画を分割したい。

MPEG-2 TS

- 最高の画質「FHD FHD」で撮影したい。
- パソコンで編集したい。（画像の加工に時間がかかりません）
- HDV対応機器にダビングして編集したい。（画質「1440 CBR 1440 CBR」、GZ-HD40のみ）
- パソコンで編集し、本機に書き戻して再生したい。

ストリーム形式の変更方法

メニューを表示します

「基本設定」を選び、押して決定します

「ストリーム形式」を選び、押して決定します

「AVCHD」または「MPEG-2 TS」を選び、押して決定します

設定を終了します

お知らせ

●画質(XP SP EP またはFHD 1440)を設定するには、P.68をご覧ください。

再生するとき

■撮った動画が見つからないときは、ストリーム形式(AVC HD または MPEG2 TS)を変更します。

•別のストリーム形式で撮った動画は、画面に表示されません。
(表示されないだけで、削除されてはいません)

保存するとき

■別売DVDライターを使ってDVDに保存する
➡(P.49)

■パソコンを使ってDVDに保存する
➡(P.11)

お知らせ

●別売DVDライターをお使いの場合、2つのストリーム形式の動画を、1枚のDVDに保存できません。

●撮影した動画をパソコンで編集する場合、ストリーム形式を「MPEG2 TS MPEG-2 TS」にするときは、メニューの「x.v.Color」を「切」にして撮影してください(P.69)。付属ソフトは、MPEG2 TS モードの「x.v.Color」に対応していません。

●(Macの場合)編集に使うソフトによって、ストリーム形式を使い分けてください(P.11)。

もくじ

確認する

●ハイビジョンの記録方式‥‥6
・AVCHD
・MPEG-2 TS

●パソコンで編集するには‥ 11
・Windows
・Mac OS X

●安全上のご注意‥‥‥‥‥ 12

●使用上のご注意‥‥‥‥‥ 14

●付属品/別売アクセサリー‥ 16

●日常のお手入れ‥‥‥‥‥ 17

●海外で使うときは ‥‥‥‥ 17

●各部の名前とはたらき
・本体 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 18
・リモコン‥‥‥‥‥‥‥‥ 24

●画面の見かた
・共通 ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 25
・動画のとき‥‥‥‥‥ 26
・静止画のとき ‥‥‥‥ 27

■本書のアイコン
動画アイコンは動画モードの、
静止画アイコンは静止画モードの
機能をあらわします。

準備する

まずは!

①付属品を取り付ける ‥‥‥ 28
・グリップベルト
・リモコン電池
・フェライトコア

②microSDカードを入れる ‥ 29

③充電する‥‥‥‥‥‥‥‥ 30
・バッテリー残量の目安を
調べるとき
・エブリオドック

④基本操作を覚えよう ‥‥‥ 32
・電源を入／切する
・動画／静止画を選ぶ
・撮影／再生を選ぶ
・オート／マニュアルを選ぶ

撮影する／再生する

●動画／静止画を撮る・・・・・ 34
・ズームするとき
・残量を確認するとき

●動画／静止画を見る・・・・・ 36
・再生時の操作
・スライドショーで見るとき

●探して見る(インデックス) ・・ 38
・グループ分けする
・撮影日から探す

●場面や状況に合わせる
(プログラム AE)・・・・・・・・・ 40
・ポートレート／スポーツ／
スノー／スポットライト／
夜景／ナイトアイ

●ピントを合わせる・・・・・・・・ 42
・フォーカスアシスト
・マニュアルフォーカス

●テレビで見る ・・・・・・・・・・・ 44

編集する

●プレイリストをつくる・・ 46

保存する 選べる!

●いろいろな保存 ・・・・・ 48

●DVDライターを
準備する ・・・・・・・・・・ 49

●DVDを簡単につくる・・ 50

●DVDのつくりかた ・・ 52

●バックアップDVDを
見る・・・・・・・・・・・・・・・ 58
・本機とDVDライターで
・AVCHD機器で
・ディスクの種類

●外付型ハードディスクに
保存する・・・・・・・・・・・ 60
・使用上のご注意

●HDV機器にダビングする
(GZ-HD40のみ) ・・ 63

●標準画質でダビング
する・・・・・・・・・・・・・・・ 64

もくじ(つづき)

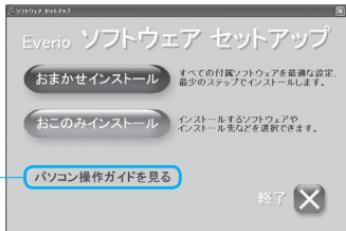
メニューを使う

●さまざまな機能を使う‥‥ 66
・メニュー操作の基本
・メニュー一覧
●動画の撮影メニュー ‥‥‥ 68
●静止画の撮影メニュー ‥‥ 70
・適切な明るさで撮るには
●マニュアル設定メニュー‥ 72
●基本設定メニュー ‥‥‥‥ 74
●時計を合わせ直す‥‥‥‥ 77
●動画の再生メニュー ‥‥‥ 78
●静止画の再生メニュー ‥‥ 82

困ったとき

●故障かな!?と思ったら‥‥ 84
●こんな表示が出たら ‥‥‥ 91
●付属ソフトで困ったときは‥‥ 95
●仕様‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 96
・静止画の撮影可能枚数
・動画の撮影可能時間
・撮影時間(バッテリー使用時)
・エプリオドックの端子
●技術情報‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥100
●さくいん ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥101
●保証とアフターサービス ‥102

パソコンで編集するには

パソコンへの接続と操作については「パソコン操作ガイド」(PDF)をお読みください。

Windowsをお使いの方は

1 付属のCD-ROMをパソコンに入れる

●セットアップ画面が表示されます

2 「パソコン操作ガイドを見る」をクリックする

●パソコン操作ガイドが表示されます

お知らせ

●「パソコン操作ガイド」を見るには、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerは、Adobe社のホームページからダウンロードできます。
http://www.adobe.com/jp/

●付属ソフトの動作環境については「パソコン操作ガイド」をご覧ください。詳しい使いかたについては、付属ソフトのユーザーズガイドやヘルプをお読みください。

Mac OS Xをお使いの方は

1 付属のCD-ROMをパソコンに入れる

2 「PCguide」フォルダの「Start.pdf」ファイルをダブルクリックする

●パソコン操作ガイドが表示されます

■使うソフトに合わせてストリーム形式(P.6)を選びます

●AVCHD規格対応の市販ソフトを使うには➡ AVCHD

●iMoive HD(バージョン6)を使うには➡ MPEG-2 TS

●付属ソフトQuickTime Component for Everioを使うには➡ MPEG-2 TS

確認

準備

撮影・再生

編集・保存

メニュー

困ったとき

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと		禁止されていること				実行して欲しいこと
一般的注意	感電注意	禁止	分解禁止	ぬれ手禁止	水場での使用禁止	一般的指示

警告 「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

バッテリー・電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- プラス(+)とマイナス(−)のまちがい
- 金属物(ネックレス、ヘアピンなど)といっしょに携帯・保管する
- 分解、加工、加熱および水中もしくは火中に入れる
- 高温(60℃以上)になる場所に置く

・誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
　万一、液漏れしたら、取り付け部をよくふいてください。
・液漏れしたバッテリー・電池は使わないでください。
・液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、きれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。
・バッテリーを持ち運ぶときは、必ずバッテリーキャップをしてください。

分解禁止

分解・改造をしない

・火災や感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

禁止

付属のACアダプター以外は使用しない

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意

電源プラグは根元まで確実に差し込む

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

禁止

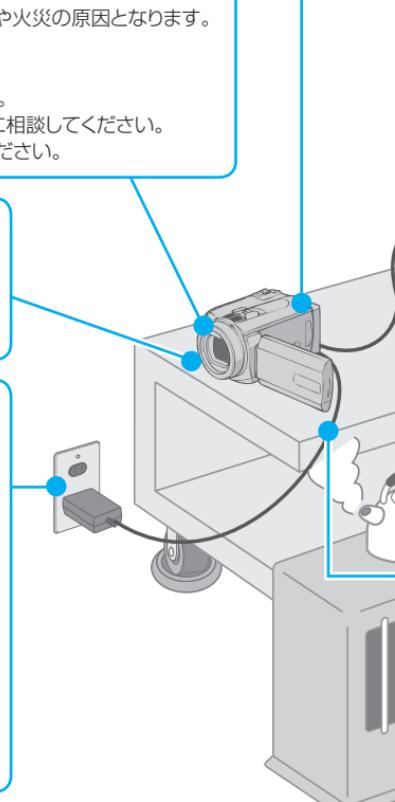
電源コードを傷つけない

・痛んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ

バッテリーをはずす
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

禁止

内部に物を入れない
·microSDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止

レンズを直射日光などに向けない
·集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止

乗り物を運転中に使用しない
·交通事故の原因になります。

水場での使用禁止

雨や雪が降る中やふろ場などで使用しない
·内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

注意 「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください
·湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う
·本機からの電磁波が計器類に影響を与えるおそれがあります。

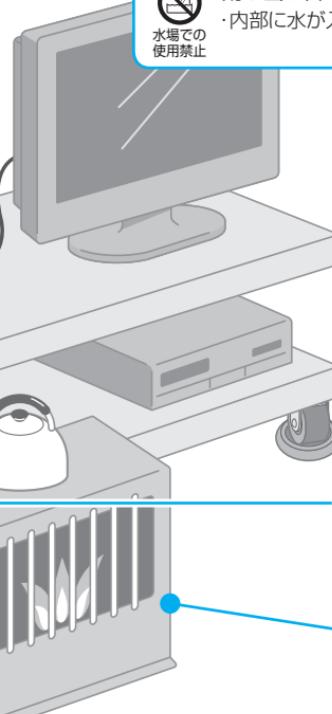
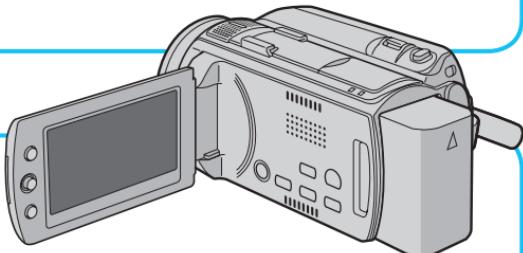
一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす
·コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

長時間使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグやバッテリーをはずす
·電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグやバッテリーをはずしてください。感電の原因になります。

禁止

湿気や砂ぼこりの多いところ、湯気や油煙が直接あたるところでは、使用しない
·火災や感電、故障の原因になります。

禁止

熱源の近くでは、使用しない
·火災や故障の原因になります。

使用上のご注意

本機について

●精密機器ですので落下や振動・衝撃を与えないでください。

●本機とリモコンを、直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
高温になると、内部の電池が破裂することがあります

●本機に内蔵されたハードディスク（HDD）と、市販のmicroSDカードに記録できます。

●撮影したデータはパソコンやDVDに保存してください。
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンやDVDなどに定期的に保存することをおすすめします。

●気圧の低い場所（海抜3000m以上）では使用できません。

●浜辺など砂ぼこりが多いところに置かないでください。

●指定された動作環境でご使用ください。
（P.96）

液晶画面について

●表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。
傷がついたり、割れる場合があります。

ハードディスクについて

●振動や大きな音がする場所で使用しないでください。

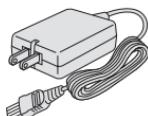
●本機を動かすと、落下検出機能が働いて電源が切れることがあります。
（P.74）

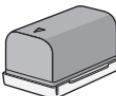
バッテリー（充電式電池）について

- 正常な動作のために必ずビクター製品をお使いください。
- ご購入時は充電されていません。（P.2）
- 低温（10℃以下）での使用時は、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。（カイロなどには直接ふれさせない）
- 直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。
- 長期間使わないときは…
  ①劣化を防ぐため、使い切ってから取りはずします。
  （撮影や再生をしながら、自動的に電源が切れるのを待つ）
  ②半年に1回程度は充電し、使い切って保管します。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付けて、約15～25℃の乾燥したところで保管してください。

バッテリー
バッテリーキャップ

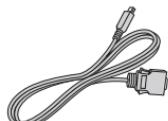
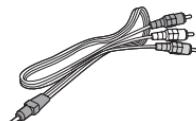
- バッテリーを処分するとき➡「バッテリーの処分について」（P.100）

■カメラやmicroSDカードを廃棄／譲渡するときは、データの流出にご注意ください

- カメラやパソコンによる「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、データの消去は完全ではありません。市販のデータ復元（修復）ソフトなどで、データを復元できる場合があります。
- データ流出によるトラブルを回避するには、市販のデータ消去ソフトを使ってデータを完全に消去するか、カメラ（ハードディスク）やmicroSDカードを金槌などによって物理的に破壊することをおすすめします。
  この処理は、お客様の責任において行ってください。万一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の機能を使って廃棄するとき➡「HDDデータ消去」（P.75）

■イラスト・画面について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

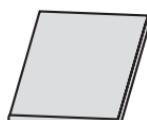
付属品／別売アクセサリー

万が一、不足品や不良品がございましたら、お買い上げの販売店、
または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

ACアダプター
AP-V14

バッテリーパック
BN-VF815

ワイヤレスリモコン
RM-V751

エブリオドック
（GZ-HD40のみ）

専用D端子ケーブル

専用AVコード

専用USBケーブル
Aタイプ－ミニBタイプ

CD-ROM

フェライトコア
i.LINKケーブル用（P.28）
（GZ-HD40のみ）

取扱説明書
（本書）

■別売アクセサリー（詳しくはカタログをご覧ください。）

バッテリーパック	BN-VF808
バッテリーパック	BN-VF815
バッテリーパック	BN-VF823
バッテリーチャージャー	AA-VF8

バッテリーキット	VU-V840KIT※1
バッテリーキット	VU-V856KIT※1
DCコード	VC-VBN800
DVDライター	CU-VD3、CU-VD50※2

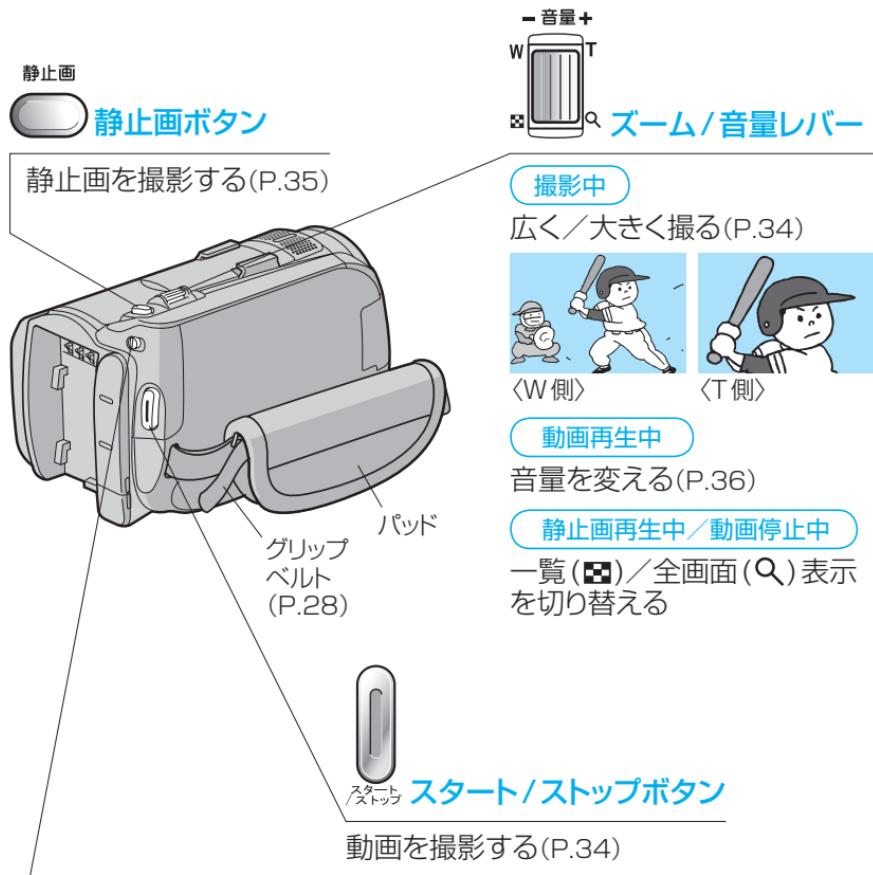
※1 バッテリーを本機に直接取り付けずに、付属のポーチに入れたバッテリーを、別売のDCコード（VC-VBN800）で本機と接続して使います。
※2 DVDライター（CU-VD20、CU-VD40）も使えます。しかし、記録に要する時間が、同製品の取扱説明書に記載された時間の約2倍になることがあります。

日常のお手入れ

●お手入れの前に、バッテリーやACアダプター、電源プラグをはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 <ご注意> ・ベンジンやシンナーは使わない。（損傷や故障の原因） ・化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ・ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでほこりを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。 （汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因）

海外で使うときは

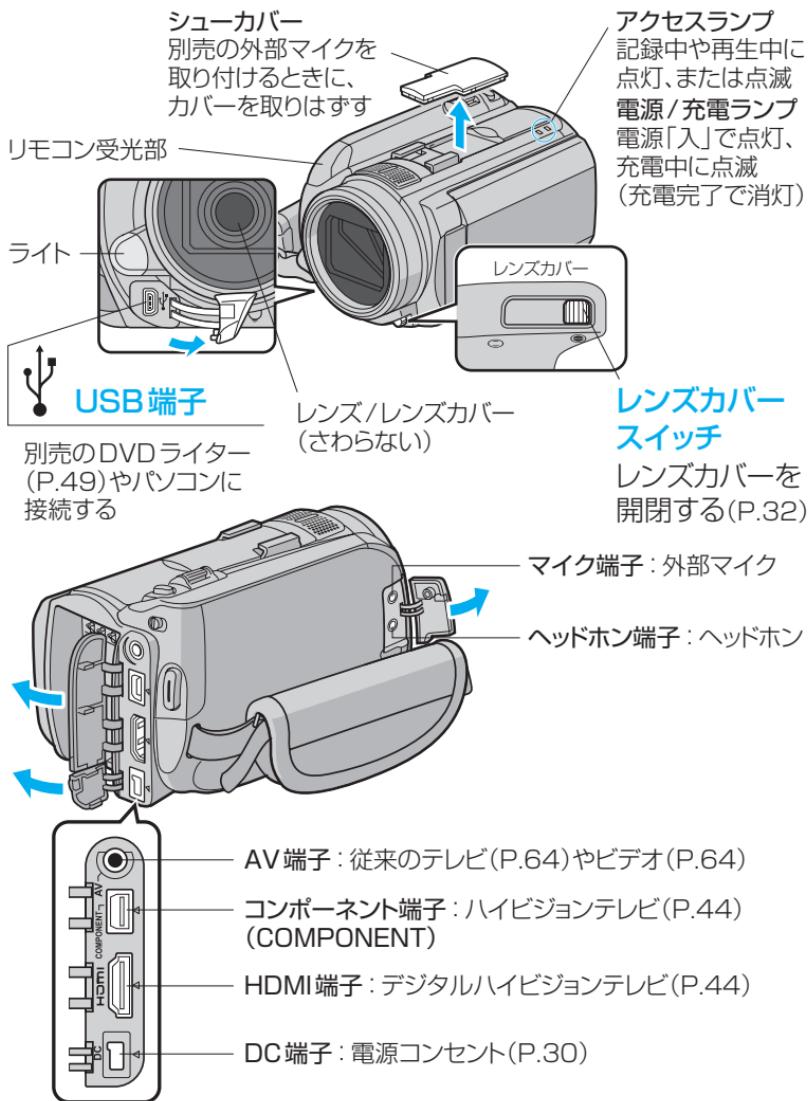
本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。
ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

■訪問国や地域に合った変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米・南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

■次の訪問国や地域では、現地のテレビでも再生することができます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。➡「テレビで見る」（P.44）

- アメリカ合衆国
- 韓国
- コスタリカ
- トリニダード・トバコ
- バハマ
- フィリピン
- ペルー
- ミクロネシア
- エクアドル
- キューバ
- コロンビア
- ドミニカ
- バミューダ
- プエルトリコ
- ホンジュラス
- ミャンマー
- エルサルバドル
- グァテマラ
- スリナム
- ニカラグア
- バルバドス
- 米領サモア
- ボリビア
- チリ
- カナダ
- グアム
- 台湾
- ハイチ
- パナマ
- ベネズエラ
- メキシコ

各部の名前とはたらき

静止画
静止画ボタン
静止画を撮影する(P.35)
－ 音量 ＋
W
T
ズーム／音量レバー
撮影中
広く／大きく撮る(P.34)
〈W側〉
〈T側〉
動画再生中
音量を変える(P.36)
静止画再生中／動画停止中
一覧( )／全画面( )表示を切り替える
パッド
グリップベルト(P.28)
スタート／ストップ
スタート／ストップボタン
動画を撮影する(P.34)
モードスイッチ
またはモードを切り替える(P.32)
〈動画モード〉
〈静止画モード〉

■エブリオドックの端子（GZ-HD40のみ）➡（P.99）

各部の名前とはたらき（つづき）

残量表示／インデックスボタン

撮影

残量情報を表示する(P.35)
動画の画質を変更する
（残量時間が変化する）

〈残量時間〉

〈充電状況〉

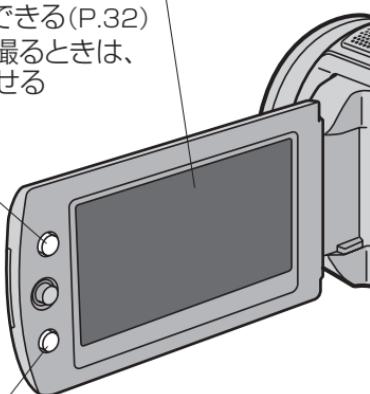
再生

見たい画像を探す(P.38)

〈インデックス〉

〈グループ〉

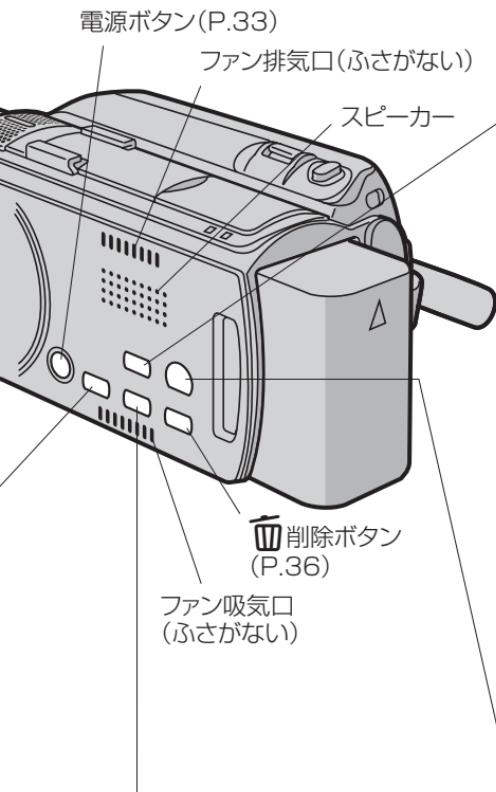
〈日付〉

メニューボタン

設定を変える(P.66)

画面

開閉すると、電源を
入／切できる(P.32)
自分を撮るときは、
回転させる

ダイレクトDVD／フォーカスアシストボタン

撮影

ピント合わせを簡単にする
（フォーカスアシスト）(P.42)

DVDライター（別売）接続中

映像をDVDに保存する
(P.50)

パソコン接続中

パソコンのDVDに保存する
(P.11)（Windowsのみ）

オート/インフォボタン

撮影

オート撮影／マニュアル撮影を切り換える(P.32)

〈オート〉

〈マニュアル〉

再生

撮影日などのファイル情報を見る(P.36、71)

〈ファイル情報〉

〈ヒストグラム〉
(静止画のみ)

切換ボタン

撮影／再生を切り換える(P.32)

〈撮影 P.34〉

〈再生 P.36〉

ダイレクトバックアップ／クイックレビューボタン

撮影

撮った直後に映像を確認する(クイックレビュー)

パソコン接続中

パソコンに保存(バックアップ)する(P.11)(Windowsのみ)

各部の名前とはたらき(つづき)

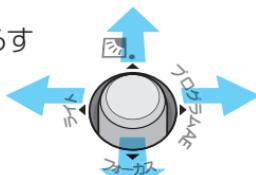
逆光補正/プログラムAE/フォーカス/ライトキー

撮影 ライト以外の機能を使うときは、マニュアル撮影(P.32)に切り替える

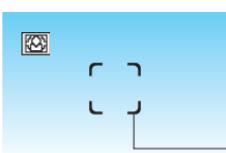
M逆光を補正する

●「⬆」押す度に…

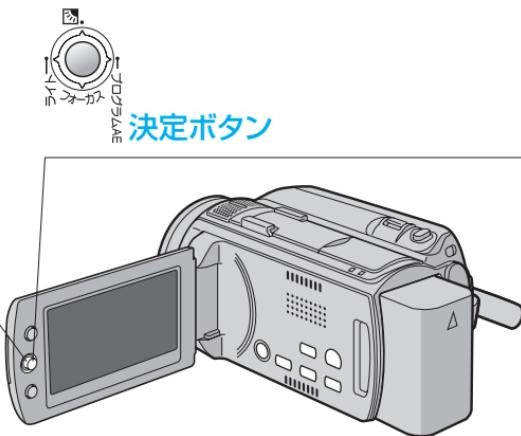
:逆光補正
↓
:スポット補正
↓
(なし):補正なし

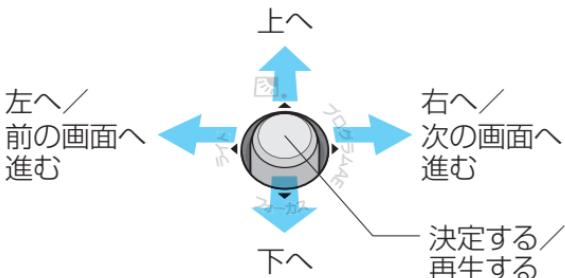
A **M**ライトで照らす

●「⬅」押す度に…

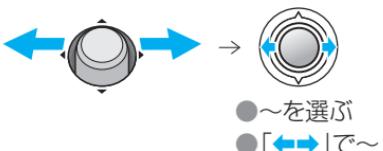
:ライト点灯
↓
A:周囲が暗いと自動的に点灯
↓
(なし):消灯

M状況に合わせる(P.40)

Mピントを合わせる(P.42)

:遠くに合わせる
:近くに合わせる

■画面のスポット枠を明るさの基準にしたいとき

①押してスポット枠を表示する

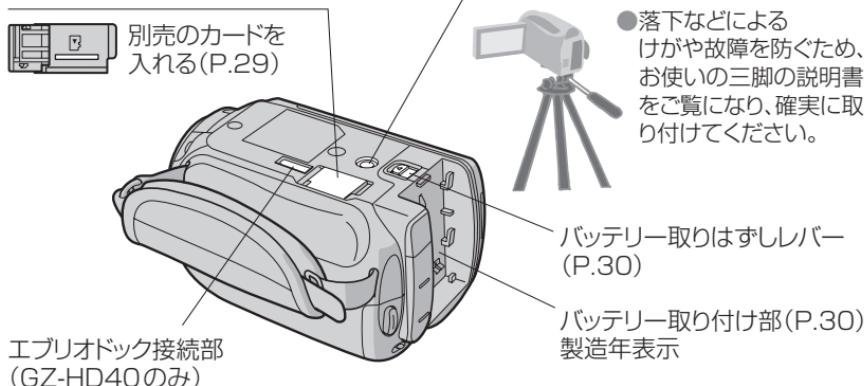
②基準にする位置を選び、押して決定する

●スポット枠が動く

●明るさを固定するとき
➡手順②で決定ボタンを2秒以上押し続ける(Lと表示)

決定ボタン

再生 インデックス画面などで移動・選択・決定する

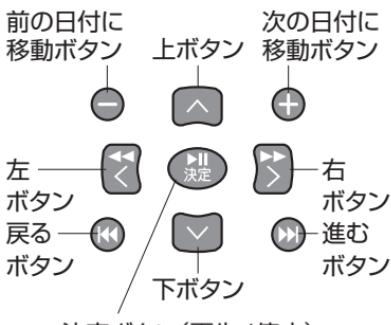
■再生中の操作 ➡(P.36、37)

■本書では、決定ボタンを次のように説明しています

(例:左右に動かすとき)

●～を選ぶ
●「⇐⇒」で～

(中心を押し込むとき)

●決定する
●押して決定する

各部の名前とはたらき（つづき）

リモコン

ズームボタン（T：拡大する／W：縮小する）
（再生ズームは、動画の一時停止中や静止画の再生中に使う）

●リモコンは受光部（P.19）に正面から向け、約5m以内でご使用ください。

画面の見かた

共通

撮影時

撮影モード(P.33)
A M

テレマクロ(P.72)

クイックレビュー(P.35)

ズーム倍率(P.34)

フォーカスアシスト(P.42)

明るさ補正(P.72)
/逆光補正
/スポット補正(P.22)
±0

ズーム(P.34)

スポット補正(P.22)

ライト(P.22)

モニター明るさ(P.74)
/シャープネス(P.73)

絞り優先AE(P.72)

シャッタースピード(P.72)

バッテリー残量

ホワイトバランス(P.72)

メディア

時間/日付(P.77)

プログラムAE(P.40)

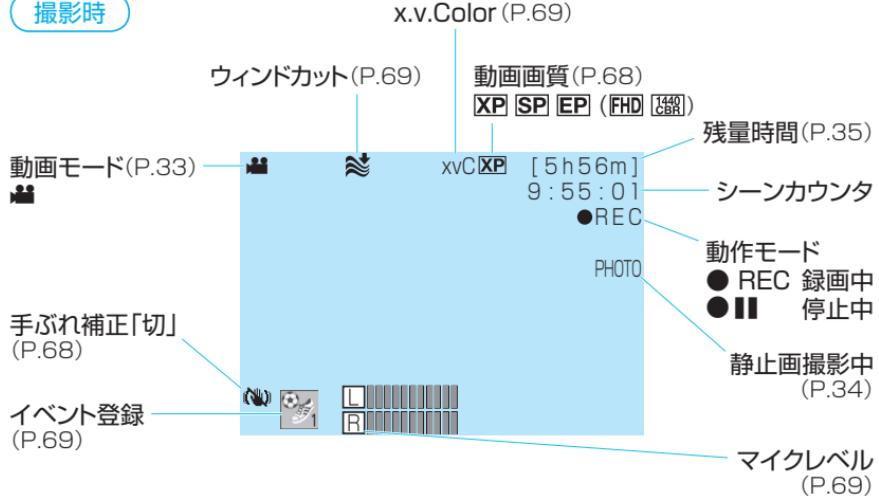
エフェクト(撮影時)(P.72)

フォーカス(P.42)

落下検出「切」(P.74)

モニターバックライト(P.74)

REVIEW
±0
200X W T
F4.0
FOCUS
1/4000
LCD
PM 4:55
2008.9.30
HDD

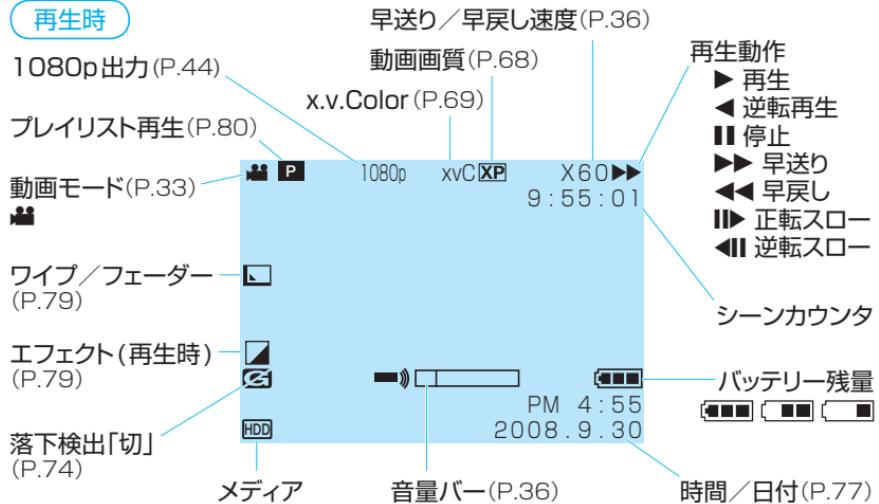
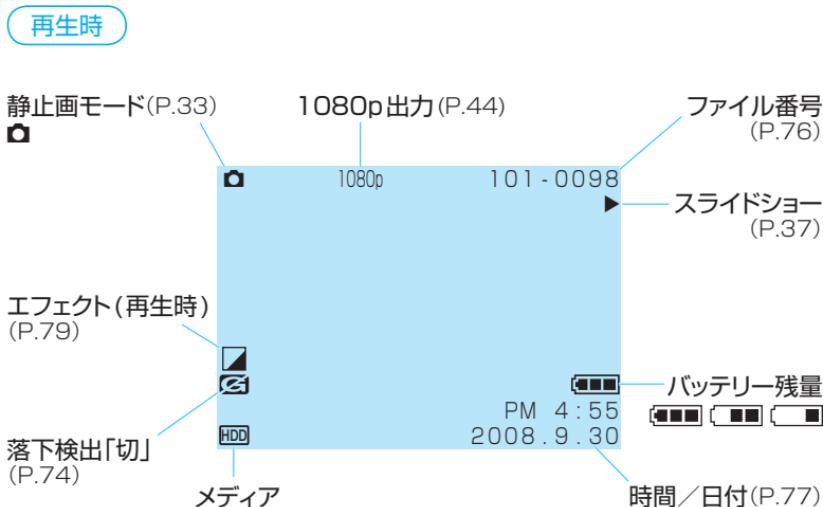
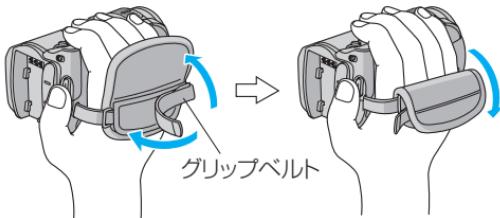
■メニュー表示中など、操作のヒント(ガイド)が表示されます

操作ガイド表示

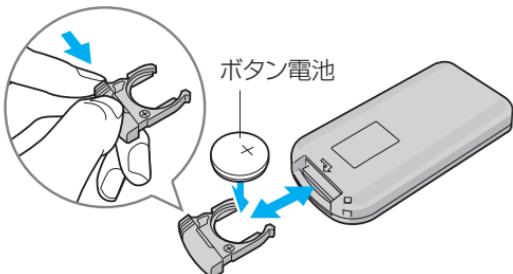
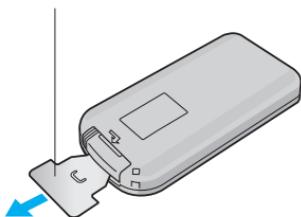
画面の見かた(つづき)

動画のとき

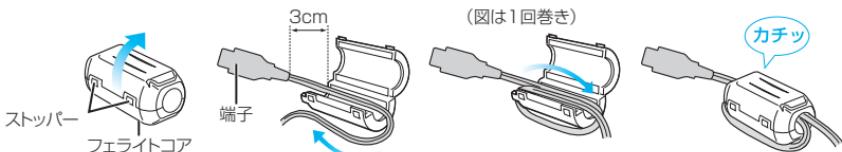
静止画のとき

撮影時
ISO感度(P.70)
静止画画像サイズ(P.70)
静止画モード(P.33)
静止画画質(P.70)
FINE STD
100
2432
FINE [9999]
残量枚数
ピント合わせ
(P.35)
PHOTO
連写/ブラケット
(P.71)
静止画撮影中
セルフタイマー
(P.70)

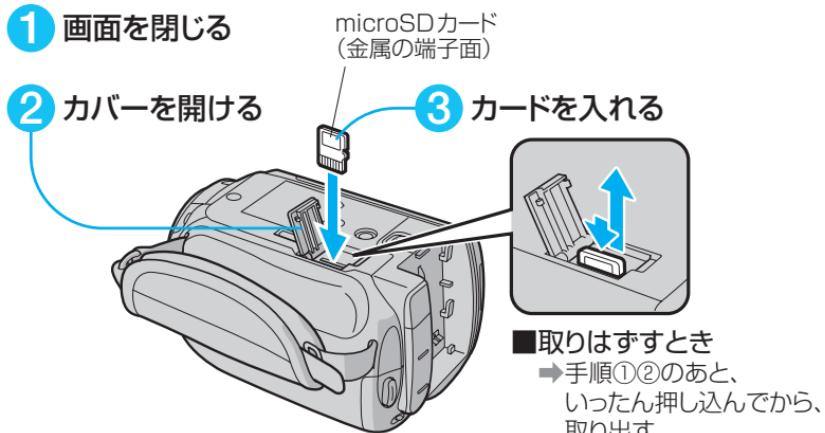
再生時
静止画モード(P.33)
1080p出力(P.44)
ファイル番号
(P.76)
1080p
101-0098
スライドショー
(P.37)
エフェクト(再生時)
(P.79)
バッテリー残量
PM 4:55
2008.9.30
落下検出「切」
(P.74)
HDD
メディア
時間／日付(P.77)

準　備 1
付属品を取り付ける

グリップベルトを調節する

お知らせ

- ゆるんでいると、落下によるけがや故障の原因になります。
- お子様は、大人と一緒にご利用ください。

リモコン電池の用意をする

■電池を入れ替えるとき

フェライトコアをi.LINKケーブルに取り付ける

1. 両側のストッパーをはずし、開く
2. 本機側の端子から約3cmの位置に取り付ける
3. 2回巻き付ける
4. ケーブルをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

お知らせ

- 本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。
- i.LINKケーブルは別売です。ビクター製品をお買い求めください。

準備 2

microSDカードを入れる

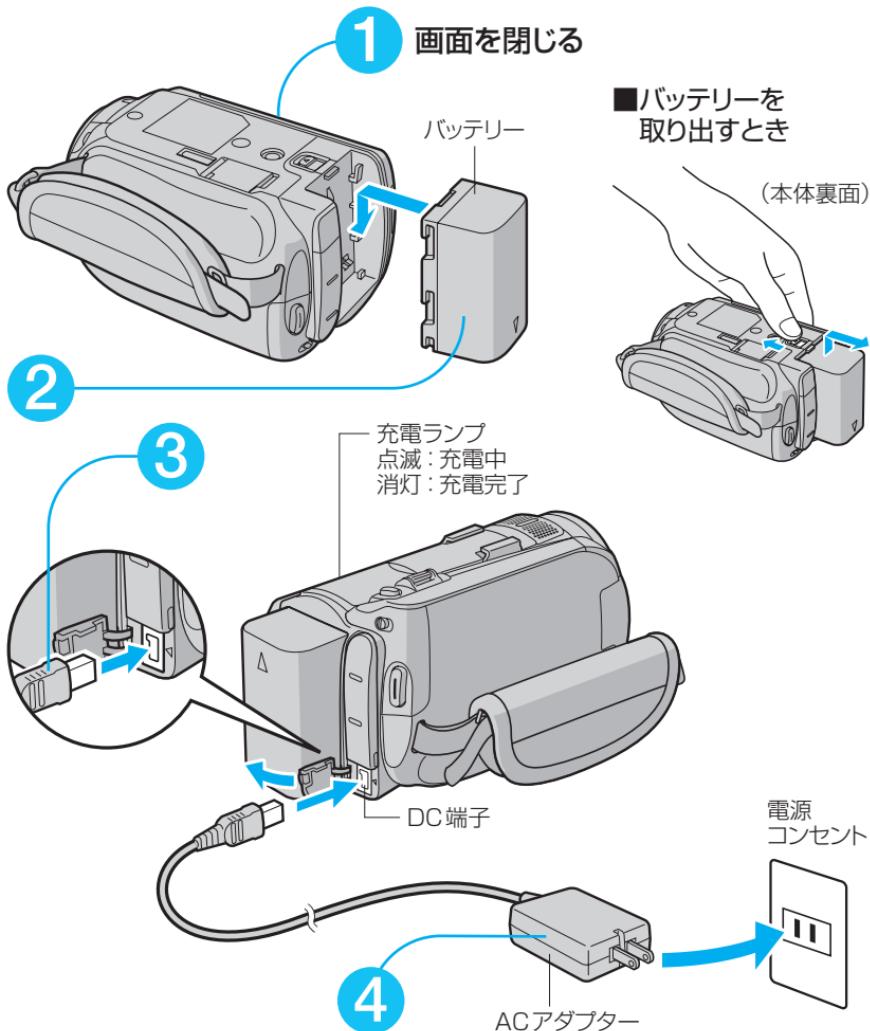
ファイル（動画と静止画）の記録先を分けたいときや、撮影した静止画をお店でプリントしたいときなどには、市販のmicroSDカードを入れておくと便利です。
（microSDカードがなくても撮影できます）

■取りはずすとき
➡手順①②のあと、
いったん押し込んでから、
取り出す

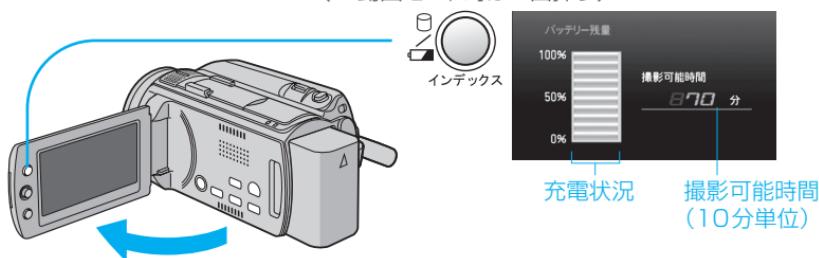
■動画や静止画をmicroSDカードに記録するとき
➡「動画メディア設定」（P.76）、「静止画メディア設定」（P.76）

■本機（HDD）のファイルをmicroSDカードに移すとき ➡（P.78）

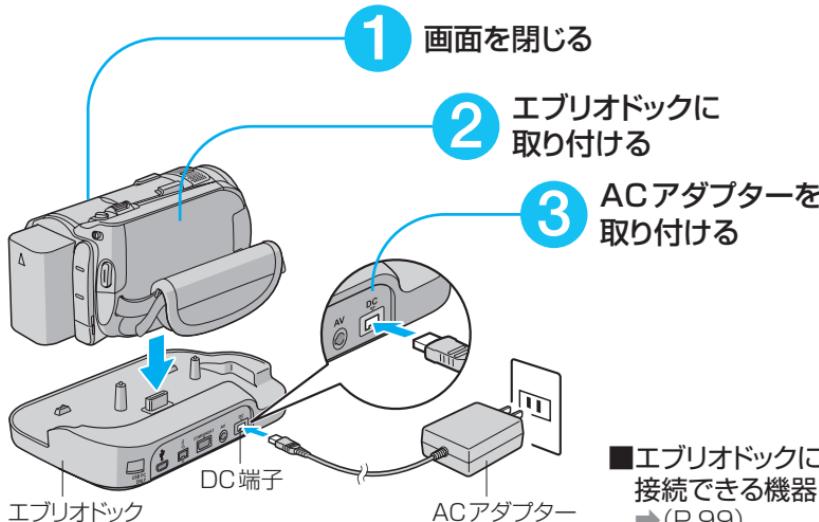
お知らせ

●次のmicroSDカードで動作を確認しています。（※）
　動画　：Class 4または6対応のmicroSDHCカード（4GB, 8GB）
　静止画：microSDカード（256MB～2GB）、microSDHCカード（4GB, 8GB）

※松下Panasonic･東芝TOSHIBA･サンディスクSanDisk･ATP
上記以外のmicroSDカード（microSDHCカードを含む）では、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。

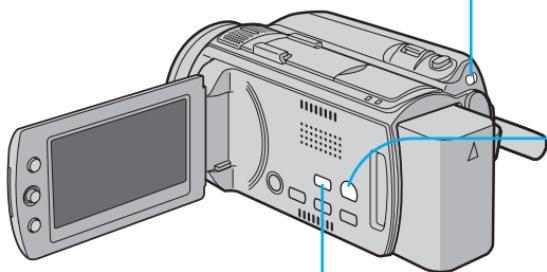
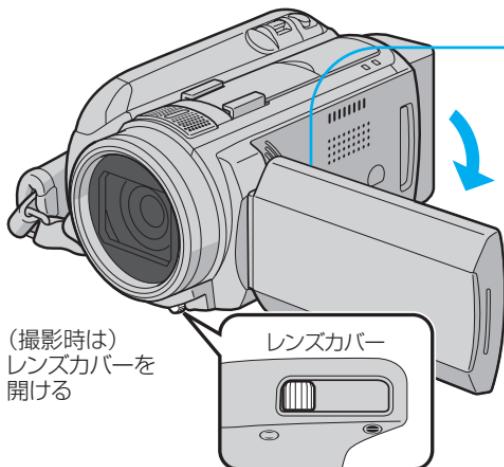
準 備 3

充電する

お知らせ ●充電時間の目安は、付属のバッテリーで約２時間40分です。
（室温 10℃～35℃の範囲を想定）

撮影前にバッテリーを充電します。
ACアダプターを接続したまま、撮影や再生ができます。

■バッテリー残量の目安を調べるとき

（🎥動画モード時は2回押す）

■自宅で撮影するとき／
充電が間に合わないとき
➡ACアダプターを接続したまま、撮影または再生する

●消すには➡もう1度押す
●電源「切」時は
➡押すと、約3秒間表示する
➡2秒押し続けると、約15秒間表示する
●動画の撮影中は、表示されません。

エブリオドックで充電する（GZ-HD40のみ）

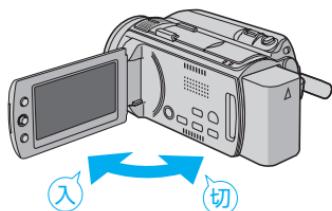
1 画面を閉じる

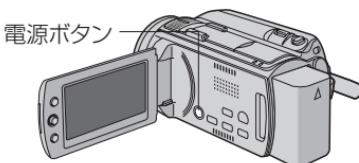
2 エブリオドックに取り付ける

3 ACアダプターを取り付ける

■エブリオドックに接続できる機器
➡(P.99)

準　備 4

基本操作を覚えよう

お知らせ

●はじめて撮影するときは、
時計を設定します（P.3）。

この操作は、撮影や再生・編集など、すべてに共通する操作です。
以降のページでは、準 備の操作として説明を省略しています。

画面を開閉すると、電源を入／切できる

●5分以内に再び開くと、すぐに電源が入ります。(高速起動「入」のとき)

●電源ボタンを長く押すと、画面を開けたまま、電源を入／切できます。

●節電のため、操作せずに5分経つと電源が自動的に切れます。(バッテリー使用時のみ)

左右にスライドして、モードを切り換える

■ 動画モード

■ 静止画モード

押す度に、切り換わる

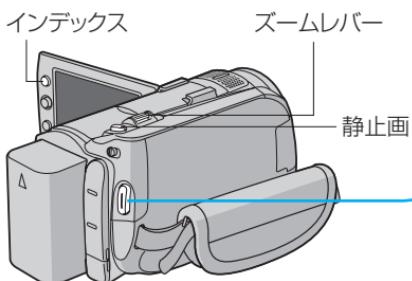
■撮影のとき

■再生のとき

押す度に、切り換わる
(撮影時のみ)

■オート撮影のとき

■マニュアル撮影のとき

撮影 再生 1

動画／静止画を撮る

動画を撮る

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「撮影」

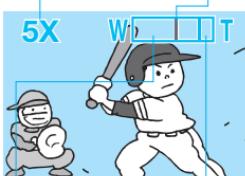
1

押す
（撮影を開始）
（もう一度押すと停止）

●お買い上げ時は、AVCHDモードに設定されています（P.6）。

●１つの動画ファイルの容量は最大4GBです。超えるときは分割されます。

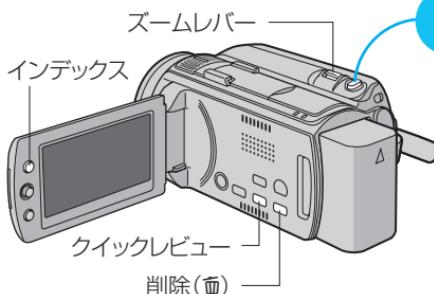
■撮った直後に確認するとき
➡（右ページ）

■動画（🎥）モードで静止画を撮るとき
➡録画中または停止中に静止画ボタンを押す（録画中は３枚まで）

■映像に効果をつけて撮るとき
➡「エフェクト」（P.72）

■ライトで照らすとき
➡「ライト」（P.22）

■被写体が暗く写るとき
➡マニュアル撮影の「逆光補正」（P.22）

■ズームするとき

デジタルズーム（11～200倍）：🎥動画のみ
光学ズーム（1～10倍）

●デジタルズームは映像が粗くなります

オート撮影(P.32)では、明るさや絞りが自動的に調整されます。
マニュアル撮影(P.32)では、メニューを使って調整できます(P.72)。

静止画を撮る

準 備 ●モードスイッチ：モード(またはモード(左ページ))
●切換ボタン：「撮影」

1 半押しする
(ピントを合わせる)

2 全押しする
(シャッターを切る)

■撮った直後に確認するとき
➡クイックレビューボタンを押す
(もう一度押すと確認終了)
(確認後に削除(🗑)できる)

■連写するとき
➡「シャッターモード」(P.71)

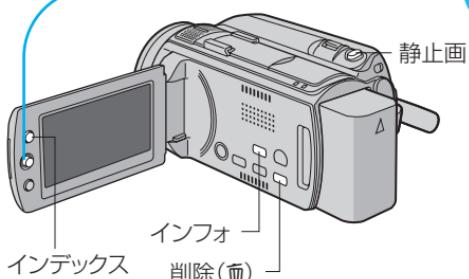
■セルフタイマーを使うとき ➡(P.70)

■ライトで照らすとき ➡(P.22)

■残量時間やバッテリー残量を調べるとき

XP：高画質
SP：標準画質
EP：長時間用
(AVCHDの場合)

バッテリー残量
100%
50%
0%
撮影可能時間
870 分

●HDDやmicroSDカードの使用状況と残録画時間(動画のみ)
●画質の変更➡「⬆⬇」で選び、押して決定する
●画質について➡(P.68、70)

●バッテリーの充電状況と撮影可能時間

動画／静止画を見る

動画を見る

準備 ●モードスイッチ：モード
●切換ボタン：「再生」

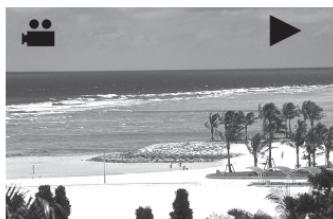
1 動画を選ぶ

（インデックス画面）➡（P.38）

2   押して再生する

（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡インデックスボタンを押す

■撮影日や撮影時間などを見るとき
➡（停止中）インフォボタンを押す

■削除するとき ➡（停止中）ボタンを押す

■動画再生の1コマを静止画にするとき
➡（一時停止中）静止画ボタンを押す

■再生時の操作

⏮：シーン先頭へ戻る

◀◀：早戻し／コマ戻し（停止中）、スロー戻し（停止中、長押し）

▶/❚❚：再生／停止

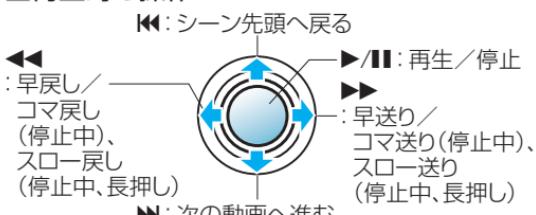
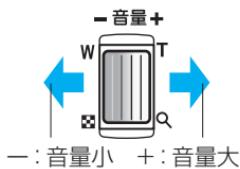
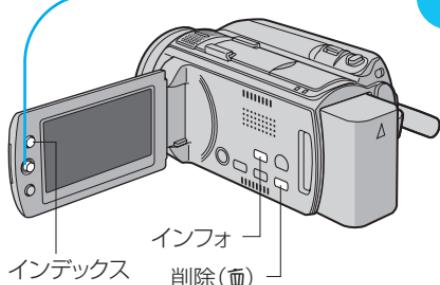
▶▶：早送り／コマ送り（停止中）、スロー送り（停止中、長押し）

⏭：次の動画へ進む

スピーカー／ヘッドホン音量

－音量＋

W T

－：音量小　＋：音量大

●早送り／早戻し中は、「⬅➡」に動かす度に、再生速度が変化する。（60倍速まで）

撮影した動画や静止画を、
一覧表示（インデックス画面）から選んで再生できます。

静止画を見る

準備 ●モードドスイッチ：📷モード
●切換ボタン：「再生」

1 静止画を選ぶ

（インデックス画面）➡（P.38）

2 押して再生する

（再生画面）

■一覧表示に戻るとき
➡インデックスボタンを押す

■撮影日やサイズなどを見るとき
➡インフォボタンを押す

■削除するとき ➡ 🗑ボタンを押す

■明るさを確認するとき
➡手順②のあとインフォボタンを２度押し、ヒストグラムを調べる（P.71）

■再生時の操作

●スライドショーを再生中は、「⬆⬇」で再生順が逆になる。

撮影 再生 3

探して見る（インデックス）

準備 ●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「再生」（停止状態）

■撮影日を選んで削除するとき

（1）「日付検索」画面で削除する撮影日を選び、決定する

（2）メニューの「削除」で「選択して削除」を行う（P.78）

動画を撮影日時でグループ分けしたり、動画や静止画を撮影日で検索したりし、一覧表示させることができます。

撮影日時が近い動画をひとつのグループに自動的にまとめ、連続して再生できます。

①グループを選び、決定する

グループ内の動画の数

お知らせ
- グループは、撮影日時を元に自動的に作成されます。
- 撮影を続けたり、動画を分割したりすると、グループは変更されることがあります。

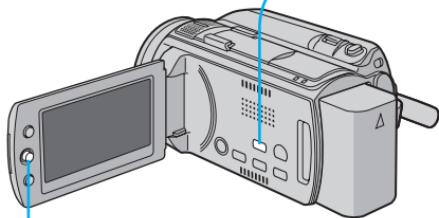
撮影日で絞り込んで動画や静止画を表示します。

①撮影日を選び、決定する

選んだ撮影日

②動画や静止画を選び、決定する

- 選んだ日に撮影した動画・静止画のみ表示される

■インデックス画面に動画や静止画が表示されないとき

➡「動画メディア設定」や「静止画メディア設定」を変更する(P.76)
(別のメディアに記録した動画や静止画は、インデックス画面に表示されません。)

➡「ストリーム形式」を変更する(P.74)
(別のストリーム形式で記録した動画は、インデックス画面に表示されません。)

■手動で動画を分類したいとき(イベント)

(1) 撮影前に「イベント登録」で設定する(P.69)
または、再生時に「イベント変更」で変更する(P.81)
(2) 「イベント検索」で、イベントを指定して検索する(P.81)

撮影 再生 4

場面や状況に合わせる（プログラムAE）

準備 ●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

1 AUTO/インフォ マニュアル撮影にする

MANUAL

2 プログラムAEを開く

3 最適なモードを選び、決定する

選んだモードのアイコン

■終了するとき
➡手順2で「OFF」にする

■設定を解除するとき
➡手順③で別のモードまたは「OFF」を選ぶ

お知らせ

●ナイトアイモードでは、手ブレしやすくなるので三脚で固定してください。

撮りたいものに合わせて露出やシャッタースピードを調節し、
最適な設定で撮影できます。

ポートレートモード
：背景をぼかして、人物を
浮かび上がらせる。

スポーツモード
：動きの速いものを
1コマ1コマ鮮明に。

スノーモード
：晴れた日の雪原などで、
被写体が暗く映ることを防ぐ。

スポットライトモード
：ライトの中の人物が
明るくなりすぎない。

夜景モード
：夜景などを自然な感じに。

ナイトアイモード
：周囲が薄暗いと感度を上げる。
（最大30倍）

撮影
再生

5 ピントを合わせる

準備
●モードスイッチ：🎥または📷モード
●切換ボタン：「撮影」

お知らせ

●フォーカスアシストとマニュアルフォーカスは、同時に使えます。
●オート撮影時(P.32)は、常にオートフォーカスです。

ピントが合っているかわからないときは、フォーカスアシストで確かめます。
ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスで調節します。

画面の表示を一時的にモノクロにし、ピントが合っている画像の輪郭線を青色で表示します。

フォーカスアシスト

●押す度に…

→FOCUS ：アシスト中
（モノクロ表示、輪郭のみ青色）
↓
（なし） ：切
（カラー表示）

●輪郭線の色を変えたいとき
➡「フォーカスアシスト」（P.70）

お知らせ

●暗いところなどでフォーカスアシストを使うと、ざらついた部分に色が付いて輪郭色が見にくくなります。

オートフォーカスではピントが合いにくい場合に、マニュアルフォーカスを使います。
（同時にフォーカスアシストを使うと、ピント合わせが簡単になります。）

①マニュアルフォーカスにする

●「⬇」押す度に…

：マニュアルフォーカス ←
↓
（なし） ：オートフォーカス

②ピントを合わせ、決定する

お知らせ

●ズームを使うときは、望遠（T）でピントを合わせてから広角（W）にすると、ピントがズレにくくなります。

準備
準備
撮影・再生
編集・保存
メニュー
困ったとき

撮影再生 6

テレビで見る

準備 ●電源：「切」
●お使いのテレビの説明書もご覧ください

1 テレビに接続する

2 電源を入れ、切換ボタンで「再生」にする

3 再生する

●動画を見るとき➡P.36
●静止画を見るとき➡P.37
●インデックスから探して見るとき➡P.38
●プレイリストを見るとき
➡「プレイリスト再生」（P.80）
●イベントで探してみるとき
➡「イベント検索」（P.81）

デジタル方式でハイビジョンテレビに接続する
HDMI端子

アナログ方式でハイビジョンテレビに接続する
D端子

（従来型テレビで見るとき）
P.64へ

■日付などの表示を消すとき
➡「テレビ表示」（P.74）

お知らせ

●「HDMI出力」を「オート1」に設定し（P.75）、1080p対応テレビにHDMIケーブルで接続すると、最良の画質になる1080p信号を出力します。画面の上端に「1080p」と表示されます。
●「x.v.Color」（P.69）を「入」にして撮影したときは、テレビ側の設定をx.v.Colorにするか、テレビの色合いを調整してください。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。

ハイビジョンテレビに接続すると、ハイビジョン画質で再生できます。
従来型のテレビに接続すると(P.64)、標準画質で再生できます。

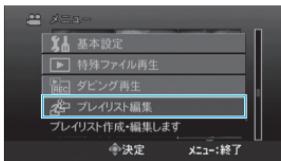
ハイビジョンテレビ
音声入力　D端子
L　R
(白)(赤)
AV　コンポーネント　DC
AV
コード
使用しません
(黄)
D端子
ケーブル
ACアダプター

■D端子の種類をテレビに合わせる

➡「コンポーネント出力」(P.74)

編集 保存 1

プレイリストをつくる

準備 ●モードスイッチ：🎥モード
●切換ボタン：「再生」

1 メニューを表示する

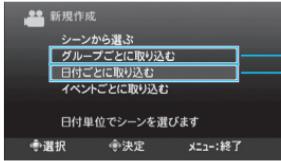
2 「プレイリスト編集」を選び、決定する

3 「新規作成」を選び、決定する

4 作成方法を選び、決定する

🎥 操作例）

撮影日で動画を選ぶ

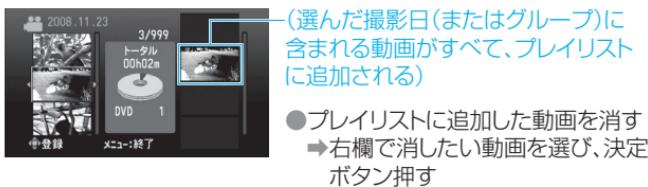
日付ごとに取り込む

グループで動画を選ぶ

グループごとに取り込む

■終了するとき ➡メニューボタンを押す

■プレイリストを修正／削除するとき ➡（P.80）

■プレイリストを再生するとき ➡「プレイリスト再生」（P.80）

動画ファイルを並べた一覧を、プレイリストと呼びます。
動画ファイルをプレイリストに登録しても、元の動画ファイルはそのまま残ります。

プレイリストのつくりかたの例として、ここでは「日付ごとに取り込む」（または「グループごとに取り込む」）を選んだときの操作を説明します。ほかの項目では、操作が少し異なります。

撮影日（またはグループ）を選び、その日に撮影した動画（またはグループ内の動画）をまとめて選んで並べます。

①撮影日（またはグループ）を選び、決定する

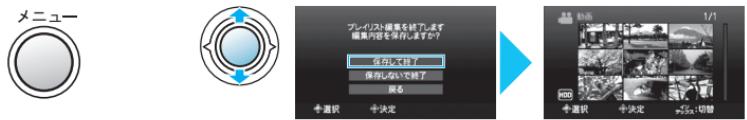
プレイリスト

撮影日　最初に撮影した動画

●選んだ撮影日（またはグループ）に含まれる動画を確認する
➡インデックスボタン押す
●動画の内容を確認する
➡「⬆⬇」で動画を選び、決定する

②挿入位置を選び、決定する

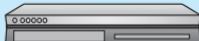
（選んだ撮影日（またはグループ）に含まれる動画がすべて、プレイリストに追加される）

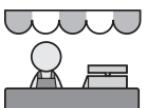
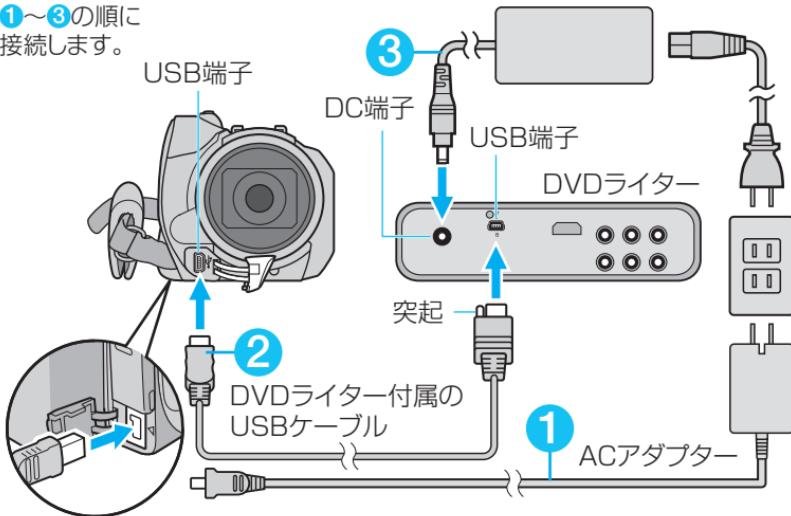
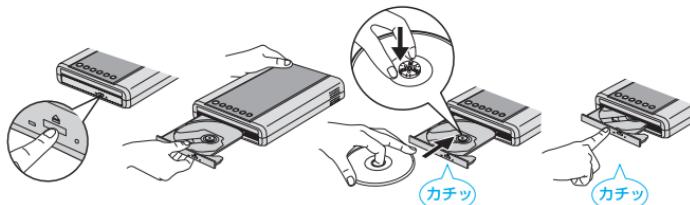
●プレイリストに追加した動画を消す
➡右欄で消したい動画を選び、決定ボタン押す

③手順①～②を繰り返し、撮影日（またはグループ）を並べる

④終了する

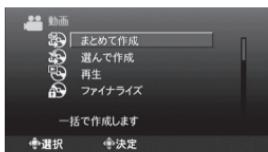
⑤「保存して終了」を選び、決定する

（インデックス画面に戻る）

お知らせ
●動画ファイルを削除またはムーブすると、プレイリストから同じ動画が取り除かれます。
●プレイリストに登録した動画ファイルを分割（P.79）しても、プレイリストは影響を受けません。ただし、分割後の動画ファイルを１つでも削除またはムーブすると、プレイリストから分割前の動画が取り除かれます。

編集 保存 2

いろいろな保存

これを使って…	こんなことができます
動画・静止画	
DVDライターで	ハイビジョン画質でDVDに保存する（右ページ） ■再生するとき ➡（P.58）
外付けハードディスクに	ハイビジョン画質で保存する（P.60） ■対応するハードディスク ➡I-O DATA製HDCN-Uシリーズ（1TB以下）
動画	
ビデオ機器で	標準画質でDVDやテープに保存する（P.64）
静止画	
microSDカードにコピーして… （P.82）	お店でプリント（印刷）する ➡「DPOF」（P.83） SDカードスロット付きのテレビやカーナビで見る

DVD保存 1 DVDライターを準備する

準備 ① 本機の電源：「切」
② モードスイッチ：🎥または📷モード（保存するものに合わせる）
●DVDライター（別売）の説明書もご覧ください

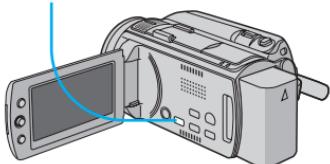
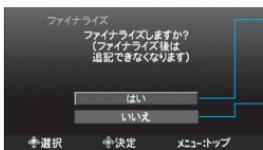
4 本機の電源を入れる

5 DVDライターの電源を入れ、新しいDVDをセットする

お知らせ
●DVDに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
●本機への接続時、DVDライター（CU-VD50）のボタンの多くは機能しません。

DVD 保存 2

DVDを簡単につくる

準備 ●ストリーム形式：AVCHD（P.6、74）
●DVDライターを準備する（P.49）

1 表示を確認する

2 ダイレクトDVD 押す

3 どちらかを選び、決定する

●DVDのトップメニューに…
➡はい　：グループが並ぶ
➡いいえ：動画が並ぶ

■静止画やMPEG2 TSモードの動画を保存するとき ➡（P.52）

■作成したDVDを再生して確認するとき ➡（P.58）

■「ファイナライズしますか?」と表示されたとき

●ほかの機器で再生するとき／追記を終えるとき
➡「はい」を選び、決定する
（またはP.52で「ファイナライズ」を選ぶ）
●DVDに追記する予定があるとき
➡「いいえ」を選び、決定する

一度もDVDに保存していない動画をまとめてDVDに保存し、
AVCHDディスク(P.59)をつくることができます。(ダイレクトDVD)

「作成開始」を選び、決定する

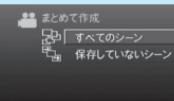
必要なディスクの枚数

●手順⑤の画面が表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。

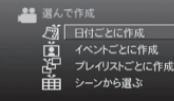
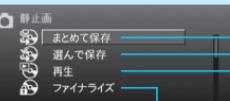
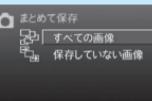
決定し、DVDを取り出す

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

お知らせ

●「自動ファイナライズ」を「切」にすると(P.75)、「ファイナライズしますか?」と表示されます。
●インデックス画面(P.38)に表示されないファイルは、保存できません。
●トップメニューにグループを並べる場合、撮影日時の順にグループが並びます。

DVD保存

3-1 DVDのつくりかた

準 備 ●DVDライターを準備する(P.49)

ダイレクトDVDボタンを押す(P.50)ほかに、
さまざまな方法でDVDをつくることができます。

まとめて作成

●すべてのシーン
本機のなかのすべての動画を、DVDに保存します。

●保存していないシーン
一度もDVDに保存していない動画を、まとめてDVDに保存します。
(ダイレクトDVDと同じ)

①「OK」を選び、決定する

➡P.50手順③へ

選んで作成

●日付ごとに作成(P.54)
選んだ日付に撮影したすべて動画を、DVDに保存します。

●イベントごとに作成(P.56)
イベント(P.69)を選び、そのイベントを登録したすべての動画をDVDに保存します。

●プレイリストごとに作成(P.57)
作成したプレイリスト(P.46)を選び、プレイリストどおりの動画をDVDに保存します。

●シーンから選ぶ(P.56)
1つ、または複数の動画を選んでDVDに保存します。

まとめて保存

(「まとめて作成」と同様)

●すべての画像

●保存していない画像

選んで保存

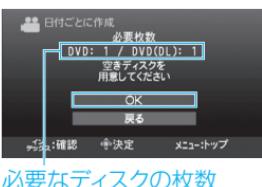
(「選んで作成」と同様)

●日付ごとに保存(P.54)

●画像から選ぶ(P.56)

お知らせ

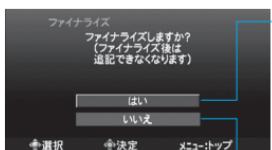
●「作成しました」と表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。
●インデックス画面(P.38)に表示されないファイルは、保存できません。

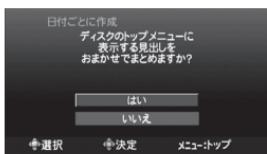
DVDのつくりかた(つづき)

日付ごとに作成
日付ごとに保存

(P.53で「日付ごとに作成」または「日付ごとに保存」を選び)

①撮影日を選び、決定する

②「OK」を選び、決定する

必要なディスクの枚数

●内容を確認する
➡インデックスボタンを押す

動画：MPEG2 TS モード
➡④へ進む
静止画➡④へ進む

■作成したDVDを再生して確認するとき ➡(P.58)

■「ファイナライズしますか?」と表示されたとき

●ほかの機器で再生するとき／追記を終えるとき
➡「はい」を選び、決定する
(またはP.52で「ファイナライズ」を選ぶ)

●DVDに追記する予定があるとき
➡「いいえ」を選び、決定する

③どちらかを選び、決定する

●DVDのトップメニューに…
➡はい　：グループが並ぶ
➡いいえ：動画が並ぶ

④「作成開始」を選び、決定する

●手順⑤の画面が表示されるまで、電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。

⑤決定し、DVDを取り出す

●「次のディスクを入れてください」と表示されたとき
➡新しいDVDに入れ替える

お知らせ
●ストリーム形式（AVCHD または MPEG2 TS）によって、つくられるディスクの種類と性質が異なります。
●「DVDを簡単につくる」の「お知らせ」（P.51）をお読みください。

DVD保存 3-3

DVDのつくりかた(つづき)

イベントごとに作成

(P.53で「イベントごとに作成」を選び)

①イベントを選び、決定する

②➡(P.54 手順②へ)

シーンから選ぶ

画像から選ぶ

(P.53で「シーンから選ぶ」または「画像から選ぶ」を選び)

①ファイルを選び、決定する

(選んだファイルに ✔ がつく)

●選んだシーンを確認するとき
➡ズームレバーをT側へ

●元に戻すとき
➡ズームレバーをW側へ

② 手順①を繰り返し、ファイルを選ぶ

③ インデックス 押して確定する

④➡(P.54 手順②へ)

プレイリストごとに作成

作成したプレイリストを選び、プレイリストどおりの動画をDVDに保存する。

(P.53で「プレイリストごとに作成」を選び)

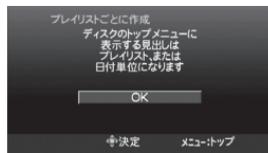
①プレイリストを選び、決定する

作成したプレイリスト　保存するプレイリスト

- 選んだプレイリストの内容を確認する
  ➡インデックスボタンを押す
- プレイリスト画面に戻す
  ➡動画を停止し、インデックスボタンを押す

②挿入位置を選び、決定する
(右欄にプレイリストがあると、挿入位置を選べる)

(選んだプレイリストが、追加される)

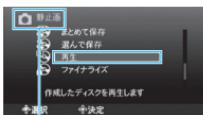
③手順①〜②を繰り返し、プレイリストを並べる

④ 右へ押して確定する

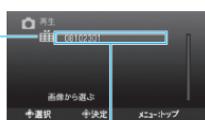
⑤➡(P.54 手順②へ)

お知らせ

- P.55手順③で、右の画面が表示されます。決定してください。

DVD 保存 4

バックアップDVDを見る

準備 ①(テレビで見るとき)テレビに接続する(P.44)
② モードスイッチ:🎥または📷モード(再生するものに合わせる)
③ DVDライターを準備する(P.49)の手順①～④

1 本機でつくったDVDをセットする

2 「再生」を選び、決定する

モード(動画/静止画)を確認する

3 (📷静止画の場合) フォルダを選び、決定する

● MPEG2 TS モード(P.6)のとき
➡🎥動画でも表示される

バックアップ方法を示すアイコン

バックアップした年月日と数字(01～99)

4 再生する(P.36、44)

お知らせ ●再生できるディスクは、本機でつくったDVDに限ります。

AVCHD対応機器で見る

右ページのAVCHDディスクは、DVDライター(CU-VD50)やAVCHD対応ブルーレイレコーダーなどで再生できます。

前の画面に戻る

次の画面に進む

●ダイジェスト再生
DVD内の動画を、数秒ずつ連続して再生します。

■再生できないとき
➡DVD作成の画面で「ファイナライズ」を選び、決定する(P.52)

■ダイジェスト再生をやめるとき
➡再生機器のリモコンのトップメニューボタンを押す
(続いて「通常再生へ」を選ぶと、動画を再生します)

本機でつくったDVD（バックアップDVD）のファイルを再生できます。
つくったときのモード（動画または静止画）やストリーム形式（AVCHDまたはMPEG2 TS）によって、
つくられるディスクの種類が異なり、再生できる機器も異なります。

AVCHDディスク

保存

■別売DVDライターでつくるとき
➡ AVCHD モードで保存する
●保存できるものは、
動画（XP SP EP）のみ。

※静止画を保存したDVDは、データディスク（MPEG-2 TS形式）になります。

■パソコンでつくるとき
➡付属ソフトの
PowerProducerを使う
●保存できるものは、
すべての画質の動画。

再生

■再生できる機器

AVCHD対応機器
（ブルーレイレコーダーなど）

DVDライター
（CU-VD50のみ）

AVCHD対応ソフト
（付属のPowerDVDなど）

データディスク（MPEG-2 TS形式）

保存

■別売DVDライターでつくるとき
➡ MPEG2 TS モードで保存する
●保存できるものは、
動画（FHD 1440）と静止画。
➡ AVCHD モードで静止画のみを保存する

■パソコンでつくるとき
➡DVDライターの付属ソフト
Power2Goを使う
●保存できるものは、
動画（FHD 1440）と静止画。

再生

■再生できる機器

DVDライター
（CU-VD50とCU-VD40）

付属のPowerCinema

お知らせ
●上記のDVDライターをテレビに接続すると、本機を使わずに再生できます。
●上記以外の機器（DVDプレーヤーなど）にディスクを入れると、ディスクを取り出せなくなることがあります。

HDD保存 1-1

外付型ハードディスクに保存する

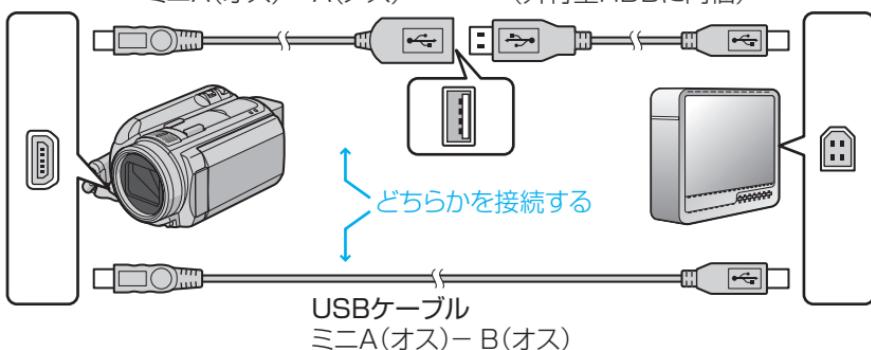
■対応する外付型HDD

I-O DATA（アイ・オー・データ機器）社の、下記の製品をお使いください。

製品名	容量
HDCN-U250	250GB
HDCN-U320	320GB
HDCN-U500	500GB
HDCN-U640	640GB
HDCN-U1.0	1TB

（2008年5月現在）

お知らせ

- 外付型HDDについて詳しくは、ビクターホームページ、またはI-O DATA社のホームページをご覧ください
- 外付型HDDの製品仕様と使いかた、最新機種の情報については、I-O DATA社にお問合せください。
  http://www.iodata.jp/

■対応するUSBケーブル

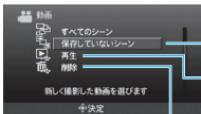
図のいずれかの市販のUSBケーブルをお買い求めください。
本機に付属するUSBケーブルは使用できません。

市販の外付型ハードディスク(以下、外付型HDD)をUSBケーブルで接続すると、動画や静止画を外付型HDDに保存したり、本機で再生したりできます。

すべての動画(または静止画)を保存する

準備 ①モードスイッチ：動画または静止画モード(保存するものに合わせる)
②外付型HDDを本機に接続し、電源コンセントに差し込む

1 「すべてのシーン」を選び、決定する

●静止画では➡「すべての画像」

モード(動画／静止画)を確認する

2 「OK」を選び、決定する

●ファイルの保存が始まる

■その他の機能

(手順①の画面)

●保存していないシーン(保存していない画像)
外付型HDDに一度も保存していない動画または静止画を、まとめて保存できます。

●再生
外付型HDDの動画または静止画を、本機で再生できます。
エラーメッセージが表示されたとき➡(P.94)

●削除
外付型HDDから、動画または静止画をフォルダ単位で削除できます。

●フォーマット
外付型HDDから、すべてのファイルを削除できます。
(パソコンでフォーマットしないでください。)

外付型ハードディスクに保存する（つづき）

外付型HDDの使用上のご注意

■接続するとき

●「対応する外付型HDD」（P.60）以外では、動作を保証いたしません。
●外付型HDDは、必ず電源コンセントに接続してください。
●本機と外付型HDDの間に、USBハブを接続しないでください。
DVDライター（別売）を使うときや、別の外付型HDDを使うときは、接続中の外付型HDDを本機から取りはずします。

■保存または再生するとき

●動画の保存には時間がかかります。
（例：AVCHDモードの画質XPの場合、1時間の動画の保存に約20分かかる。）
●ファイルの保存中と再生中は、本機や外付型HDDの電源を切ったり、USBケーブルを取りはずしたりしないでください。
●外付型HDDのファイルは、本機に戻せません。
●本機から削除したファイルは、外付型HDDに保存されていても、DVDライター（別売）でDVDに記録できません。
●再生中に、映像や音声が途切れることがあります。

■外付型HDDをパソコンに接続するとき

●パソコンでフォーマットしないでください。
パソコンでフォーマットした場合は、本機で改めてフォーマット（P.61）します。
ただし、外付型HDDのファイルはすべて削除されます。
●外付型HDDのファイルやフォルダは、パソコンで削除・移動・名前の変更をしないでください。本機で再生できなくなります。
●外付型HDDのファイルをパソコンで編集するときは、あらかじめパソコンにコピーしてください。外付型HDDのファイルを直接編集すると、本機で再生できなくなります。

ビデオ保存 1

HDV機器にダビングする（GZ-HD40のみ）

GZ-HD40では、画質 1440CBR で撮った動画を、HDV機器にダビングできます。

準備
●ストリーム形式：MPEG2 TS MPEG-2 TS（P.6、74）
●モードスイッチ：モード
●切換ボタン：「再生」
●お使いのHDV機器の取扱説明書もあわせてお読みください

1 画質 1440CBR の動画だけで、プレイリストをつくる

●プレイリスト➡（P.46）

1440CBR マークのある動画だけを選ぶ

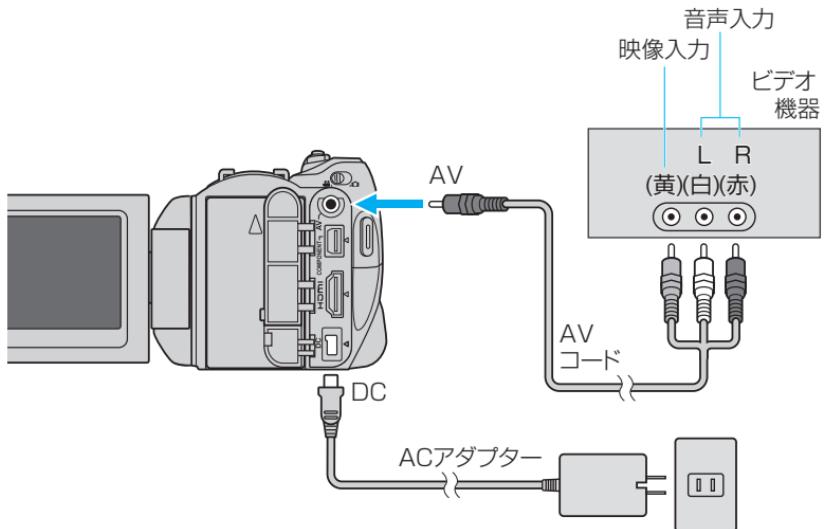
2 本機をエブリオドックに接続する

●接続する➡（P.31）

3 市販のHDV機器とエブリオドックのi.LINK端子を、i.LINKケーブル（別売）で接続する

●i.LINK端子➡（P.99）
●接続については、お使いのHDV機器の取扱説明書をお読みください。

4 プレイリストをダビングする

●ダビング➡（P.65）
●ダビング中の映像は、本機に表示されません。「i.LINK出力中」と表示されます。

お知らせ
●ダビングした映像をHDV機器で再生すると、シーンのつなぎ目で映像や音声が止まることがあります。
●日時情報、場面切替、再生時のエフェクト（P.79）はダビングされません。
●すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。

ビデオ保存 2

標準画質でダビングする

ビデオ機器に標準画質でダビングするときや、標準画質の従来型テレビで見るときは、次のように接続します。

準備
- ●電源：「切」
- ●モードスイッチ：🎥モード
- ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください

■ビデオ機器に接続するテレビの画面比(4：3／16：9)に合わせる

➡「ビデオ出力」(P.74)

■日付表示を付けてダビングするとき

➡「テレビ表示」を「入」(P.74)
➡「画面表示」を「日付のみ表示」(P.81)

お知らせ
- ●ビデオ機器で再生した映像は、本機に入力できません。
- ●ハイビジョン画質のまま残すには、DVD ライター(P.49)かパソコン(P.11)をお使いください。HDV 機器にダビングすることもできます(P.63)。

DVDレコーダーなどに、標準画質に変換しながらダビングできます。
あらかじめプレイリストを作成してください(P.46)。

プレイリストをダビングする

再生側(本機)	録画側(ビデオ機器)

1 録画の準備をする

・対応する入力信号に切り換える。

2 メニューを表示する

3 「ダビング再生」を選び、決定する

4 プレイリストを選び、決定する

5 「はい」を選び、決定する

・黒画面→再生画面→黒画面

6 黒画面が表示されているうちに録画を開始する

(ダビング中)

7 黒画面が表示されているうちに録画を停止する

・映像の最初と最後に約5秒間の黒画面が入る。

お知らせ

●ダビングの前に手順⑤までを行い、ビデオ機器に本機の映像を入力できることを確認してください。

■動画ファイルをダビングするとき

➡インデックス画面で動画を再生し、ビデオ機器で録画を開始する

メニュー 1

さまざまな機能を使う

準備 ●モードスイッチ：動画または静止画モード

1 メニューを表示する

選択した項目の説明が表示されます

2 メニューを選び、決定する

3 内容を選び、決定する

■設定を終了するとき
➡メニューボタン

■ひとつ前の画面に戻るとき
➡決定ボタンを「⬅」へ

■すべての設定をお買い上げ時に戻すとき
➡「工場出荷」(P.76)

明るさやホワイトバランスなどを、被写体や目的に合わせて調節したり、
手ぶれ補正、テレビ表示など、撮影や再生の設定を変えたりできます。

動画の撮影メニュー

➡(P.68)
マニュアル設定(＊1)
動画画質
ズーム倍率
手ぶれ補正
感度アップ
x.v.Color
イベント登録
基本設定
フォーカスアシスト
ウィンドカット
マイクレベル表示
マイクレベル設定
ヘッドホン音量調整

静止画の撮影メニュー

➡(P.70)
マニュアル設定(＊1)
静止画画質
静止画サイズ
ISO感度
基本設定
フォーカスアシスト
セルフタイマー
シャッターモード

動画の再生メニュー

➡(P.78) (＊2)
削除
プロテクト／解除
コピー(＊3)
ムーブ(＊3)
分割(＊3)
エフェクト
ワイプ／フェーダー
基本設定
特殊ファイル再生
ダビング再生
プレイリスト編集
プレイリスト再生
イベント変更
イベント検索
モニターオフ
画面表示

静止画の再生メニュー

➡(P.82)
削除
プロテクト／解除
コピー
ムーブ
基本設定
エフェクト
DPOF(＊4)
モニターオフ
画面表示

お知らせ

＊1　この機能は、マニュアル撮影時(P.32)に使用できます。
＊2　グループ画面(P.38)、グループの再生中、プレイリストや特殊ファイルの再生中(P.80)は、一部の機能を使用できません。
＊3　この機能は、AVCHD モード(P.6)で使用できます。
＊4　この機能は、「静止画メディア設定」(P.76)を「SD」にすると使用できます。

メニュー 2 動画の撮影メニュー

メニュー	内容
マニュアル設定 （マニュアル撮影時のみ）	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定メニュー」（P.72）
動画画質 （AVCHD モードのとき） ➡（P.6）	● XP XP：高画質 SP SP：標準画質 EP EP：長時間用 • どの画質でも、フルハイビジョン（1920×1080i）の動画を撮影できます。 • 画面の一部がモザイク状になったり、輪郭がぼやけるとき（動きのあるシーンや、明るさに変化があるシーンで、生じることがあります。） ➡画質を XP に変更して撮る ➡基本設定メニューの「ストリーム形式」を「MPEG-2 TS」に変更して撮る（P.74）
動画画質 （MPEG2 TS モードのとき） ➡（P.6）	● FHD FHD：最高画質（フルハイビジョン） 1440 CBR 1440 CBR：固定ビットレート（1440×1080i） •「1440 CBR」にして撮影した動画は、市販のHDV対応ソフトウェアやHDV機器にダビングできます。ただし、すべてのHDV機器との互換性を保証するものではありません。
ズーム倍率	● 10倍：10倍までズームできる（光学ズームのみ） 40倍：40倍までズームできる 200倍：200倍までズームできる
手ぶれ補正	OFF 切：設定しない ● ON 入：手ぶれによる動画のブレを低減する • 三脚などで固定して撮るとき ➡「切」にする（「入」では逆に不自然な映像になる） • 手ぶれが大きいときは、補正しきれないことがあります。 • 動画撮影のみに効果があります。
感度アップ	OFF 切：調節しない AGC AGC：暗いところで電気的に明るく調節する ● A オート：暗いときは自動的に明るく調節する （オートスロー：AGCより明るくなる）

モードスイッチを動画(🎥)にして撮影するときのメニューです。

メニュー	内容
x.v.Color	● OFF 切:テレビ放送と同じ規格で、色を記録する ON 入:より忠実に色を記録する(x.v.Color対応テレビ用) • x.v.Color非対応のテレビで表示すると、「入」にして撮影した動画は色が正しく再現されないことがあります。 • MPEG2 TS モードの場合、パソコンで編集するときは、「切」にして撮影してください。
イベント登録	イベント(旅行、運動会、ペットなど)を設定する • 設定後に撮影した動画にはイベントが登録され、動画の検索やDVD作成に利用できます。 • 設定したイベントのアイコンが表示されます(P.26)。 • 動画のイベントを変更するとき、イベントで動画を検索するとき ➡「イベント変更」「イベント検索」(P.81) 子供 1/3 登録しない 次ページ 選択 登録 メニュー:終了
基本設定	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「基本設定メニュー」(P.74)
フォーカスアシスト	● B 青/ R 赤/ G 緑 • フォーカスアシストボタンを押したときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。
ウィンドカット	● OFF 切:低減しない ON 入:風の音を低減する
マイクレベル表示	OFF 切:表示しない ● ON 入:マイクレベルを表示する
マイクレベル設定	−2〜●0〜+2:マイクの感度を増減する • 外部マイクの接続時は、外部マイクの感度を調節できます。
ヘッドホン音量調整	ヘッドホンの音量を「⇔」で調節し、押して決定する

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー 3 静止画の撮影メニュー

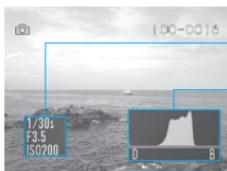
メニュー	内容
マニュアル設定（マニュアル撮影時のみ）	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「マニュアル設定メニュー」（P.72）
静止画画質	● ファイン：高画質（撮影枚数が少ない） スタンダード：標準画質（撮影枚数が多い） • モードスイッチを動画（）にしたまま静止画を撮影する場合（P.34）、ここで設定した画質になります。
静止画サイズ	1824×1368 1440×1080 640× 480 ● 2432×1368（画面比が16:9） 1920×1080（画面比が16:9） • モードスイッチを動画（）にしたまま静止画を撮影する場合（P.34）、静止画サイズは常に「1920×1080」（画面比が16:9）になります。 • 画面比が16:9の静止画をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。
ISO感度	● A オート：周囲の明るさに応じて、感度を調整する 100：ISO 100フィルム相当に設定する 200：ISO 200フィルム相当に設定する 400：ISO 400フィルム相当に設定する 1000：ISO 1000フィルム相当に設定する • 感度の数値を上げると、ノイズで粗くなります。
基本設定	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「基本設定メニュー」（P.74）
フォーカスアシスト	● B 青／R 赤／G 緑 • フォーカスアシストボタンを押したときに、ピントの合った被写体の輪郭線が、設定した色で表示されます。
セルフタイマー	● OFF 切：セルフタイマーを使わない 2秒：静止画ボタンを押して、2秒後に撮る（手ぶれ防止の効果がある） 10秒：静止画ボタンを押して、10秒後に撮る • セルフタイマーの動作中は、残り時間（秒）が表示されます。 • 撮影開始をお知らせする音を消すとき ➡「操作音」を「切」にする（P.76）

モードスイッチを静止画( )にして撮影するときのメニューです。
モードスイッチを動画( )にしたまま静止画を撮影する場合(P.34)、「静止画画質」を除いて、このメニューの機能は利用できません。

メニュー	内容
シャッターモード	● 1枚撮影:連写しない 連写:静止画ボタンを押し続けているあいだ、連写する(約2枚/秒) ブラケット:自動または手動で設定した明るさの静止画に続いて、少し暗い静止画(-0.3EV)と、少し明るい静止画(+0.3EV)の、3種類の静止画を連写する ・シャッタースピードを設定しても(P.72)、ブラケット撮影ではシャッタースピードが固定されません。 ・microSDカードによっては、連写できないことがあります。 ・連写し続けると、連写速度が低下します。

●印は、お買い上げ時の設定です

■動画を適切な明るさで撮るには

撮影前に、「ゼブラ」を設定する(P.73)
➡マニュアル設定メニュー(P.72)で明るさ・シャッタースピード・絞りを調節し、しま模様を減らして撮る

明るすぎる(白とび)

■静止画を適切な明るさで撮るには

再生中にインフォボタンを2度押し、ヒストグラムを表示する(P.37)
➡マニュアル設定メニュー(P.72)で明るさ・シャッタースピード・絞りを調節し、グラフの山が途切れないようにして撮り直す

撮影時の情報

ヒストグラム
・縦軸:画素数
・横軸:明るさ

右端で途切れている
:明るすぎる(白とび)

左端で途切れている
:暗すぎる(黒つぶれ)

お知らせ ●撮影方法や設定により、撮影時の情報の一部またはすべてが表示されないことがあります。

メニュー4 マニュアル設定メニュー

メニュー	内容
明るさ補正 （動画：－6～＋6） （静止画：－2.0EV～＋2.0EV）	● A オート：自動的に明るさが調節される M マニュアル：明るさの補正値を「↑↓」で設定し、押して決定する • 明るさを固定するとき ➡設定終了後、ボタンを2秒以上押し続ける（Lと表示） • 明るさの固定を解除するとき ➡ボタンを2秒以上押し続ける（Lが消える）
シャッタースピード （動画：1/2～1/4000） （静止画：1/2～1/500）	● A オート：自動的にシャッタースピードが調節される M マニュアル： • 動きの速い被写体を鮮明に撮るとき ➡ボタン「↑」で数値を大きくする（被写体が暗くなることがある） • 動きのある被写体の流れを撮るとき ➡ボタン「↓」で数値を小さくする（手ブレしやすくなるので、三脚で固定する）
絞り優先AE （F1.8～F4.0）	● A オート：自動的に絞りが調整される M マニュアル： • 背景にもピントを合わせるとき ➡ボタン「↑」で数値を大きくする（被写体が暗くなることがある） • 背景をぼかすとき ➡ボタン「↓」で数値を小さくする
WB ホワイトバランス	● A オート：自動的に自然な色合いになるよう調節される ワンタッチ：手動で被写体の色をより正確に調節する ➡①白い紙を画面全体に写す ②「ワンタッチ」の点滅が止まるまで、決定ボタンを押し続ける はれ：晴れた日の屋外で撮るとき くもり：くもりの日や日陰で撮るとき ハロゲン：ハロゲン撮影用ライトなどの照明の下で撮るとき
エフェクト	● OFF 切：効果をつけない セピア：古い写真のようにセピア色で撮る B/W 白黒：白黒映像のようにモノクロで撮る 映画効果（のみ）：速いコマ落としによる映画のような効果で撮る ストロボ（のみ）：コマ落としで、連続写真のように撮る
テレマクロ	● OFF 切：望遠（T）側で約1mまで接写できる ON 入：望遠（T）側で約50cmまで接写できる

これらの項目を設定するには、マニュアル撮影時（P.32）にメニューで「マニュアル設定」を選んで決定します。

メニュー	内容
ゼブラ（動画のみ）	● 切：ゼブラ機能を使わない 70%：白とびに近い（明るい）場所を、しま模様で見つける 100%：完全に白とびした（明るすぎる）場所を、しま模様で見つける ・しま模様は、映像に記録されません。 ・白とびを減らすには➡（P.71）
シャープネス（動画のみ）	被写体の輪郭を「⬅➡」で調節し、押して決定する （ぼかす）－ ＋（強調） ・強調すると、ざらついた映像になります。 ・未調整に戻すとき➡「工場出荷」（P.76）

●印は、お買い上げ時の設定です

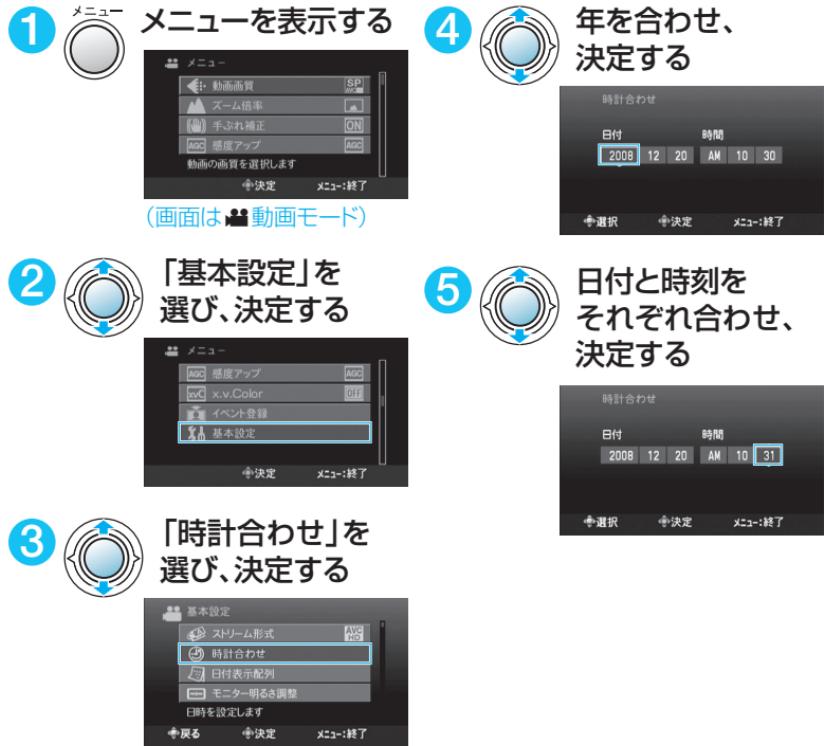
お知らせ ●オート撮影時（P.32）は、これらの項目の設定が「オート」または「切」に一時的に変更されます。

メニュー
5-1 基本設定メニュー

メニュー	内容
ストリーム形式	● AVCHD：AVCHDモードにする（推奨） MPEG-2 TS：MPEG-2 TSモードにする ➡「ハイビジョンの記録方式」（P.6）
時計合わせ	現在時刻を合わせる（P.77）
日時表示配列	年月日の並び順と、時間表示（24h／12h）を設定する
モニター明るさ調整	画面の明るさを「◀▶」で調節し、押して決定する （暗い）－ ＋（明るい）
モニターバックライト	明るい：画面を常に明るくしたいとき 標準：バッテリーの消費を抑えたいとき ● オート：屋外では「明るい」に、屋内では「標準」に、自動的に切り替わる（バッテリー使用時） ➡屋外に出ると、「LCD ▲」が約3秒間表示され、▲が点滅します ➡屋内に入ると、「LCD ▼」が約3秒間表示され、▼が点滅します
落下検出	切：落としても停止しない ● 入：HDDの破損を防ぐため、本機を落とすと撮影や再生を停止する •「入」にしてもHDDを保護できないことがあります。 •本機を落とさなくても撮影や再生が停止するとき ➡「切」にする ➡「動画メディア設定」を「SD」にする（P.76）
デモモード	切：設定しない ● 入：本機の機能のデモを見ることができる ➡microSDカードを入れず、ACアダプターを接続し、電源を入れて「撮影」にし、約3分待つ
テレビ表示	● 切：テレビに、アイコンや日付を表示しない 入：常に表示する
ビデオ出力	● 16:9：ワイドテレビ（16:9）に接続するとき 4:3：従来型のテレビ（4:3）に接続するとき
コンポーネント出力	● D1：D1（480i）～D2（480p）のとき D3：D3（1080i）～D4（720p）のとき •テレビのD端子に接続するときに、D端子の種類を設定します。

これらの項目を設定するには、メニューで「基本設定」を選んで決定します。
撮影／再生、動画( ) ／静止画( )を問わず、いつでも設定できます。

メニュー	内容
HDMI出力	● A1 オート1：通常はオート1に設定する A2 オート2：オート1で正常に表示されないとき P 480P：オート2で正常に表示されないとき • 1080p対応テレビに1080p信号を出力するには、オート1に設定してHDMIケーブルで接続します。
自動ファイナライズ	OFF 切：作成するDVDを追記可能にする(本機以外では再生できません) ● ON 入：作成するDVDを、対応機器(P.59)で再生できるようにファイナライズする •「切」にして作成したDVDを対応機器(P.59)で再生するとき ➡DVD作成画面で「ファイナライズ」を選ぶ(P.52) • 2枚以上のDVDを同時に作成する場合、「切」にしていても、最後の1枚を除いて自動的にファイナライズされます。
HDDクリーンアップ	HDDに関わる不具合を解消できることがある • 本機の性能を維持するため、定期的に実行してください。
HDDフォーマット	●ファイル：HDDのすべてのファイルを消去します。 ファイル+管理番号：HDDのすべてのファイルを消去し、次ページの「動画番号リセット」と「静止画番号リセット」を行います。
SDフォーマット	●ファイル：microSDカードのすべてのファイルを消去します。 ファイル+管理番号：microSDカードのすべてのファイルを消去し、次ページの「動画番号リセット」と「静止画番号リセット」を行います。 • microSDカードが入っていないときは、選べません。
HDDデータ消去	本機を廃棄または譲渡するときに実行する(ダミーデータの上書きですべてのデータを消去し、さらにフォーマットする) • 繰り返すことで、データの復元をさらに困難にできます。

●印は、お買い上げ時の設定です

お知らせ ●HDDデータ消去とHDDクリーンアップは、終了まで時間がかかります。ACアダプターを接続してください(P.30)。

メニュー 5-2 基本設定メニュー(つづき)

メニュー	内容
動画番号リセット (MPEG2 TS モードのみ)	動画を記録するフォルダを新しく作り、ファイル番号をリセットして「1」から始める
静止画番号リセット	静止画を記録するフォルダを新しく作り、ファイル番号をリセットして「1」から始める
リモコン	OFF 切:リモコンでの操作を受け付けない ● ON 入:リモコンで操作できる
操作音	OFF 切:消す ● ON 入:操作時に音を鳴らす
工場出荷	すべての設定をお買い上げ時に戻す
高速起動	OFF 切:高速起動しない ● ON 入:5分以内に再び画面を開くと、すぐに起動する •「入」にすると、画面を閉じてから5分間、消費電力が撮影時の約1/3になります。電源を入れておくより節電できます。
静止画メディア設定	● HDD HDD:静止画を本機のHDDに記録する SD SD:静止画をmicroSDカードに記録する
動画メディア設定 (AVC HD モードのみ)	● HDD HDD:動画を本機のHDDに記録する SD SD:動画をmicroSDカードに記録する • MPEG2 TS モードでは、動画は必ずHDDに記録されます。

●印は、お買い上げ時の設定です

時計を合わせ直す

海外旅行の際には、本機の時計を現地時刻に合わせてください。

メニューを表示する

（画面は 動画モード）

「基本設定」を選び、決定する

「時計合わせ」を選び、決定する

年を合わせ、決定する

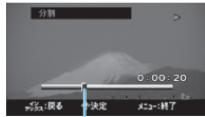
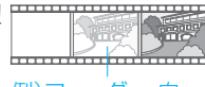
日付と時刻をそれぞれ合わせ、決定する

■設定を中止するとき ➡メニューボタン

■ひとつ前の項目に戻るとき ➡決定ボタンを「⬅」へ

お知らせ

●日付の配列（年.月.日の順序）や時間の表示（12時間または24時間）は、手順③で「日付表示配列」を選ぶと変更できます。

●日付や時刻の再生時の表示／非表示を、「画面表示」で設定できます（P.81）。

メニュー
6-1 動画の再生メニュー

メニュー	内容
削除	● 1つずつ削除：いま選ばれている動画を削除する 選択して削除：削除する動画を選んで「」マークを付け、まとめて削除する ①動画を選び、押して決定する（が表示される） ・マークを消すとき ➡もう一度押す ②メニューボタンを押す ③「削除して終了」を選び、押して決定する すべて削除：すべての動画を削除する
プロテクト／解除	● 1つずつ設定：いま選ばれている動画に、誤消去防止のプロテクト（マーク）を付ける 選択して設定：プロテクトする動画を選んで「」マークを付ける ・操作について ➡「削除」の「選択して削除」と同じ すべてプロテクト：すべての動画をプロテクトする すべて解除：すべての動画のプロテクトを解除する ・プロテクトを解除する動画を選ぶとき ➡「1つずつ設定」または「選択して設定」
コピー （AVC HD モードのみ） ➡（P.6）	● すべて：すべての動画を、HDDからmicroSDカードにコピーする ①「⬅➡」で「すべて」を選ぶ ②「実行」を選び、押して決定する シーン：選んだ動画を、HDDからmicroSDカードにコピーする ①「⬅➡」で「シーン」を選び、押して決定する ②動画を選び、押して決定する（✔が表示される） ・✔マークを消すとき ➡もう一度押す ③メニューボタンを押す ④「実行」を選び、押して決定する ・microSDカードからHDDには、コピーできません。

モードスイッチを動画（🎥）にして再生するときのメニューです。
グループ画面（P.38）、グループの再生中、プレイリストや特殊ファイルの再生中（P.80）は、一部の機能を使用できません。

メニュー	内容
ムーブ（AVC HD モードのみ）➡（P.6）	● すべて：すべての動画をmicroSDカードにコピーし、HDDから削除する シーン：選んだ動画をmicroSDカードにコピーし、HDDから削除する • 操作について➡「コピー」と同じ • プロテクトした動画は、ムーブではなくコピーされます。 • microSDカードからHDDには、ムーブできません。
分割（AVC HD モードのみ）➡（P.6）	選んだ動画を分割し、2つの動画にする ①動画を選び、押して決定する（動画が再生される） ②分割したい場面で、ボタンを「⬇」へ ③「ここで分割する」を選び、押して決定する 分割点（現在の再生位置）
エフェクト	● OFF 切：効果を付けない セピア：セピア色にする B/W 白黒：白黒にする 映画効果：速いコマ落としで再生する（古い映画のよう） ストロボ：コマ落としで再生する（連続写真のよう） • 一時的な効果です。動画ファイルに影響を与えないので、「切」にすると元に戻ります。 • 永続的な効果を付けるとき➡マニュアル設定メニューの「エフェクト」（P.72）
ワイプ／フェーダー	● OFF 切：効果を付けない Wh フェーダー 白：最初と最後を、白くする Bk フェーダー 黒：最初と最後を、黒くする B.W フェーダー 白黒：最初と最後を、白黒にする ワイプ コーナー：右上から左下へ現れ、左下から右上へ消える ワイプ ウィンドウ：中心↔周辺 ワイプ スライド：右↔左 ワイプ ドア：中心↔左右 ワイプ スクロール：下↔上 ワイプ シャッター：中心↔上下 • 約７秒以下の短い動画には、効果が付きません。 • 一時的な効果です。動画ファイルに影響を与えないので、「切」にすると元に戻ります。 例）フェーダー 白 例）ワイプ コーナー

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー
6-2 動画の再生メニュー（つづき）

メニュー	内容
基本設定	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「基本設定メニュー」（P.74）
通常ファイル再生	「特殊ファイル再生」や「プレイリスト再生」から、通常の再生に戻る
特殊ファイル再生 （AVC HD モードのとき） ➡（P.6）	以下のファイル（拡張子MTS）を再生できる • 動画デモファイル（出荷時期により、存在しないことがある） • 管理情報が何らかの理由で壊れた動画ファイル 通常の再生に戻るとき➡メニューの「通常ファイル再生」
特殊ファイル再生 （MPEG2 TS モードのとき） ➡（P.6）	以下のファイルを再生できる • パソコンから書き戻した動画ファイル（拡張子TPD） • 管理情報が何らかの理由で壊れた動画ファイル（拡張子TOD） 通常の再生に戻るとき➡メニューの「通常ファイル再生」
ダビング再生	プレイリストを選び、接続した機器にダビングする➡（P.65）
プレイリスト編集	● **新規作成**：プレイリストを作成する➡（P.46） **編集**：プレイリストを選び、内容を変更する • 操作について➡「新規作成」と同じ **プレイリスト名変更**：プレイリストを選び、名前を変更する プレイリスト名　残り文字数 英大文字→英小文字 カタカナ ←記号 移動する 一文字消す 保存せずに終了 保存して終了 **削除**：プレイリストを選び、削除する • プレイリストを削除したり、動画をプレイリストから取り除いても、元の動画ファイルはそのまま残ります。 • 動画ファイルを削除すると、プレイリストから同じ動画が取り除かれます。
プレイリスト再生	プレイリストを選び、再生する • プレイリストに含まれる動画を確認するとき ➡インデックスボタンを押す 通常の再生に戻るとき➡メニューの「通常ファイル再生」

メニュー	内容
イベント変更	● 1つずつ変更：いま選ばれている動画のイベントを変更する ①現在のイベントを確認し、「はい」を選び、押して決定する ②イベントを選び、押して決定する ③変更結果を確認する 範囲を指定して変更：複数の動画のイベントを変更する ①変更する最初の動画（ここから）を選び、押して決定する ②変更する最後の動画（ここまで）を選び、押して決定する ③イベントを選び、押して決定する ④変更結果を確認する 変更（ここから）　変更（ここまで） • 撮影時にイベントを動画に登録するとき ➡「イベント登録」（P.69）
イベント検索	イベントを指定して動画を検索する ①イベントを選び、押して決定する ②撮影日を選び、押して決定する • 撮影時にイベントを動画に登録するとき ➡「イベント登録」（P.69）
モニターオフ	本機の画面を消して節電する（リモコンで操作する際に利用できる） • 本機のボタンなどを操作すると、設定が解除され、画面が表示されます。
画面表示	切：画面の文字とアイコンをすべて消す ● すべて表示：文字とアイコンをすべて表示する 日付のみ表示：文字とアイコンを消し、日付のみを表示する 日付5秒表示：画像を表示したときと、日付が変わったときに、日付を約5秒間表示する（ほかの文字とアイコンは表示しない）

●印は、お買い上げ時の設定です

メニュー7 静止画の再生メニュー

メニュー	内容
削除	静止画を削除する ➡動画の再生メニューの「削除」(P.78)
プロテクト／解除	静止画をプロテクトする ➡動画の再生メニューの「プロテクト／解除」(P.78)
コピー	静止画をコピーする ➡動画の再生メニューの「コピー」(P.78) • microSDカードからHDDにコピーするとき ➡「HDD→SD」を選び、「⬅➡」で「SD→HDD」に変更する
ムーブ	静止画をムーブする ➡動画の再生メニューの「ムーブ」(P.79) • microSDカードからHDDにムーブするとき ➡「HDD→SD」を選び、「⬅➡」で「SD→HDD」に変更する
基本設定	項目を選び、それぞれの内容を設定する ➡「基本設定メニュー」(P.74)
エフェクト	● OFF **切**：効果を付けない **セピア**：セピア色にする B/W **白黒**：白黒にする • 一時的な効果です。静止画ファイルに影響を与えないので、「切」にすると元に戻ります。 • 永続的な効果を付けるとき ➡マニュアル設定メニューの「エフェクト」(P.72)

モードスイッチを静止画(📷)にして再生するときのメニューです。

メニュー	内容
DPOF	● **印刷枚数を設定**：プリントする枚数を、静止画ごとに指定する ①プリントする静止画を選び、押して決定する ②枚数を「⬆⬇」で指定し、押して決定する プリント枚数(最大15枚) ③メニューボタンを押す **すべて1枚に設定**：すべての静止画を1枚ずつプリントするよう指定する **枚数確認**：プリント枚数を指定した静止画に限って、プリント枚数の確認と変更を行う ・操作について ➡「印刷枚数を設定」と同じ **リセット**：プリントの指定をすべて取り消す ・プリントするとき ➡お店でプリントする(microSDカードを持ち込む) ・「DPOF」が選べないとき ➡「コピー」や「ムーブ」で、静止画をmicroSDカードに移す 「静止画メディア設定」を「SD」にする(P.76) ・画面比が16:9の静止画(P.70)をお店でプリントすると、両端が切られることがあります。プリントするお店に確認してください。
モニターオフ	本機の画面を消して節電する(リモコンで操作する際に利用できる) ・本機のボタンなどを操作すると、設定が解除され、画面が表示されます。
画面表示	画面の文字とアイコンを消す ➡動画の再生メニューの「画面表示」(P.81)

●印は、お買い上げ時の設定です

故障かな!?と思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。不具合があるときは…

→①まず、以下の表にしたがって対応する。

→②それでも解決しないときは、本機をリセットする。(P.90)

→③それでも不具合があるときは、、電源(バッテリーとACアダプター)を取りはずし、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。

	こんなときは	ここを確かめてください
カード	microSDカードが入らない	●microSDカードの向きを確認する。(P.29)
電源	電源が入らない	●ACアダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。
電源	低温メッセージを表示したあと、暖めていると電源が切れる	●低温から暖まったときは、HDDの動作確認のために、いったん電源が切れることがあります。
撮影中	撮影できない	●モードスイッチを確認する(P.32)。 ●切換ボタンで「撮影」にする。
撮影中	勝手に撮影が停止した	●本機の温度が上がると、画面の「REC」が点滅し、そのまま上がり続けると、HDDの保護のため停止します。 ●大音量や振動する場所から移動する。 ●市販のmicroSDカードを入れ(P.29)、基本設定メニューの「動画メディア設定」と「静止画メディア設定」を、それぞれ「SD」にする。 ●12時間連続撮影すると撮影が停止します。

撮影中

こんなときは	ここを確かめてください
自動でピントが合わない	●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。 ●マニュアルフォーカスを解除する。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスを使う（P.42）。
被写体が暗い	●逆光補正やプログラムAEの「ナイトアイ」を使う。 ●明るさ補正を「＋」側に設定する。 ●動画の場合、「感度アップ」を「AGC」または「オート」にする。 ●静止画の場合、「ISO感度」を「オート」や「1000」などにする。
被写体が明るい	 ●逆光補正を使っているときは解除する。 ●明るさ補正を「－」側に設定する。
スポット補正できない	 ●ズーム倍率を10倍以下に抑える。
被写体の色がおかしい	●照明や背後にいろいろな光源があるときは、ホワイトバランスの「ワンタッチ」で調節する。 ●フォーカスアシストとマニュアル設定メニューの「エフェクト」を「切」にする。
ホワイトバランスを設定できない	●マニュアル設定メニューの「エフェクト」で「セピア」や「白黒」を使わない。 ●プログラムAEの「夜景モード」を使わない。
デジタルズームできない	 ●「ズーム倍率」を「40倍」か「200倍」にする。

故障かな!?… (つづき)

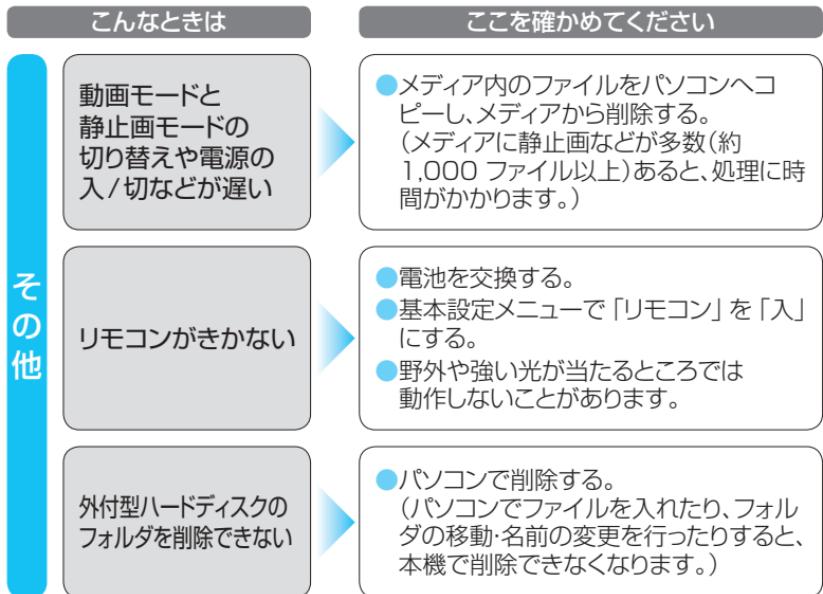
	こんなときは	ここを確かめてください
撮影中	静止画の連写速度が遅い	●連写を続けると、連写速度が低下します。 ●使用するmicroSDカードや撮影条件によって、連写速度が低下します。
撮影中	機能が働かない	●機能を示すアイコンの表示を確認する。 ●アイコンが点滅または消えているときは、同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
撮影中	実際の記録時間が目安とされている時間より短い	●動きの速い被写体を撮影したときなど、環境によっては記録時間が短くなります。
撮影中	画面がカクカクする、またはコマ落ちしたような画像になる	●機能を示すアイコンが表示されていることを確認する。 ●ナイトアイを無効に、シャッタースピードを「オート」に、エフェクトを「切」にする。
画面	アイコン表示が点滅または消える	●同時に使えない機能を選んでいるので、どちらかの機能を使うのをやめる。
画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
画面	画面が見えにくい	●直射日光下など周囲が明るいと、見えにくくなります。

	こんなときは	ここを確かめてください
画面	画面が表示されない	●本機を操作する。 （ACアダプター使用時、何も操作せずに一定時間が過ぎると、スリープモードになり、画面が消えます。）
画面	バッテリー残量が正しく表示されない	●バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。 ●高温や低温で長時間使ったり、何度も充電を繰り返していると、正しく表示できないことがある。
画面	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。 （圧迫すると映像ムラが生じます。）
再生中	日時表示がでない	●メニューの「画面表示」を「すべて表示」にする。 ●（テレビに表示がでないときは）基本設定メニューの「テレビ表示」を「入」にする。
再生中	同じ映像が長く止まって見える	●メニューの「エフェクト」を「切」にする。 ●microSDカードを交換する。 （microSDカードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。
再生中	映像がカクカクした動きに見える	●メニューの「エフェクト」を「切」にする。 ●microSDカードを交換する。 （microSDカードに傷などが生ずると、データが読み取りにくくなり、この状態になります。本機はできる限り再生しようとしますが、この状態が長く続いて再生できない場合は自動的に停止します。） ●クリーンアップやフォーマットを実行する。
再生中	動きのあるシーンや明るさの変化があるシーンなどでモザイクノイズが入るか輪郭がぼやける	●AVCHDモードの画質XPにする。 ●基本設定メニューの「ストリーム形式」を「MPEG-2 TS」にする。
再生中	音や映像が途切れる	●シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。

故障かな!?…（つづき）

再生中

こんなときは	ここを確かめてください
テレビの画面の一部が揺れて見える	●基本設定メニューで「HDMI出力」を「オート1」にする。
テレビの画面が不自然に見える（たて長など）	●基本設定メニューで「ビデオ出力」をお使いのテレビに合わせる。
撮影したはずの動画や静止画がインデックス画面にない	●基本設定メニューの「動画メディア設定」や「静止画メディア設定」を変更する。（別のメディアに記録した動画や静止画は、表示されません。） ●基本設定メニューの「ストリーム形式」を変更する。（別のストリーム形式で記録した動画は、表示されません。） ●メニューの「特殊ファイル再生」を選ぶ。（管理情報が壊れた動画ファイルなどを再生できます。）
DVDライターを接続してバックアップDVDを再生しているときに、使えない機能がある	●バックアップDVDでは、以下の機能を利用できません。 【動画の再生時】 ・インデックスの日付検索 ・再生時のエフェクト 【静止画の再生時】 ・再生時のエフェクト
動画の分割点がずれる	●AVCHD規格では、約0.5秒単位で動画を分割します。そのため、0.5秒以内で分割点がずれることがあります。

	こんなときは	ここを確かめてください
再生中	色合いが違って見える	●メニューの「エフェクト」を「切」にする。 ●ホワイトバランスを調節して撮影する。 ●x.v.Color非対応のテレビで見る場合、メニューの「x.v.Color」を「切」にして撮影する。 ●x.v.Color対応テレビで見る場合、テレビのx.v.Color設定を「入」にする。
	雑音が聞こえる	●撮影中に本機を急に動かさない。(撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります。)
ダビング	ダビング時に、接続したビデオ機器が自動的に録画を開始しない	●ビデオ機器を手動で操作し、録画の開始と停止を行う。
	(GZ-HD40のみ)プレイリストのダビング時に、再生されない動画がある	●i.LINKケーブルで接続してダビングするときは、MPEG2 TSモードに設定し、画質1440 CBRの動画だけを含むプレイリストをダビングする(P.63)。 ●AVコードで接続し、標準画質でダビングする。
その他	本機が熱くなる	●故障ではありません。
	充電中、ランプが点滅しない	●バッテリー残量を確認する。 (バッテリーが満充電されていると、ランプが点滅しません。) ●低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。 (範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)

故障かな!?…（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください
その他	動画モードと静止画モードの切り替えや電源の入/切などが遅い	●メディア内のファイルをパソコンへコピーし、メディアから削除する。（メディアに静止画などが多数（約1,000 ファイル以上）あると、処理に時間がかかります。）
	リモコンがきかない	●電池を交換する。 ●基本設定メニューで「リモコン」を「入」にする。 ●野外や強い光が当たるところでは動作しないことがあります。
	外付型ハードディスクのフォルダを削除できない	●パソコンで削除する。（パソコンでファイルを入れたり、フォルダの移動・名前の変更を行ったりすると、本機で削除できなくなります。）

■次の場合は故障ではありません。

●太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

●画面に黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
（液晶画面には99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の小さな点がでることがあります）

■HDDの性能を維持するには

➡定期的に、基本設定メニューの「HDDクリーンアップ」を実行する。

■本機をリセットするには

(1) 電源を「切」にする。

(2) 本体からバッテリーとACアダプターをいったん取りはずし、再び取り付けてから電源を入れる。

(3) 基本設定メニューの「工場出荷」を実行する。

■HDDに不具合が生じたとき

(1) 基本設定メニューの「HDDクリーンアップ」を実行します。
（データは削除されません）

(2) 不具合が解消しないときは、基本設定メニューの「HDDフォーマット」をします。
（データは削除されます）

(3) それでも不具合が解消できないときには、フォーマット後にパソコンでチェックディスクを実行します。

(4) 解消できない場合は、修理をご依頼ください。（P.102）

こんな表示がでたら…

こんな表示	ここを確かめてください
レンズカバーを確認してください	●レンズカバーを開ける。
時計を合わせてください	●時計を設定する。 ●ACアダプターを取り付けて、24時間以上充電してから、時計を設定する。
通信エラー	●バッテリーをもう一度付け直す。
動画モードでは使えません	●基本設定メニューの「動画メディア設定」を「HDD」にする。 ●microSDカードを交換する。（ほかのAVCHD機器で記録した動画は、再生できないことがあります。）
フォーマットエラー	●操作手順を確認し、もう一度繰り返す。 ●本機の電源を入れ直す。
データ消去エラー	（同上）
正常に保存（再生）できませんでした	（同上）
HDDエラー カードエラー	●クリーンアップやフォーマットを実行する。 ●microSDカードを入れ直す。 ●microSDカードの端子の汚れを取り除く。 ●microSDカードを入れてから電源を入れる。 ●本機の電源を入れ直す。

こんな表示が…（つづき）

こんな表示	ここを確かめてください
フォーマットされていません	●「OK」を選び、「フォーマットしますか?」の画面で「はい」を選ぶ。
静止画撮影は３枚までです	●動画の撮影を停止後、静止画を撮影する。 ●モードスイッチを📷（静止画）に合わせ、静止画を撮影する。
現在記録できません	●動画の撮影をいったん停止してから、静止画を撮影する。 （動画の撮影中にmicroSDカードを抜き差しすると、静止画を撮影できません。）
落下を検出して電源を切りました 記録を中止しました 記録できませんでした	●本機の電源を入れ直す。 ●基本設定メニューの「動画メディア設定」で「SD」を選ぶ。 （microSDカードに記録します。） ●（HDDなら）クリーンアップする。 ●振動や衝撃を与えないようにする。
動画管理ファイルが壊れているため修復します	●「OK」を選んで修復する。
未対応のシーン（ファイル）です	●本機で記録したファイルを使う。 （他機で記録したファイルは、再生できないことがあります。）
電源が入っていないか、または非対応のUSB機器です	●接続したUSB機器の電源を入れる。 ●DVDライターにACアダプターを接続する。

<table>
<tr><th>こんな表示</th><th>ここを確かめてください</th></tr>
<tr><td>プロテクトがかかっています</td><td>●メニューの「プロテクト／解除」で解除する。</td></tr>
<tr><td>空き容量がありません</td><td>●ファイルを削除する。パソコンなどに移す。
●新しいmicroSDカードに交換する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォルダ数が制限を超えています</td><td>●バックアップ先を別のディスクに交換する。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">①パソコンなどにファイルまたはフォルダを移す。
②基本設定メニューの「HDDフォーマット」または「SDフォーマット」で、「ファイル+管理番号」を選ぶ。</td></tr>
<tr><td>記録できる管理番号（フォルダ・シーン数）の上限に達しました</td></tr>
<tr><td>シーン数（ファイル数）の制限を超えています</td></tr>
<tr><td>プレイリスト数の制限を超えたため中断しました</td><td>●プレイリストを99以下にする。</td></tr>
<tr><td>作業領域が不足しているため処理を中断しました</td><td>●プレイリストに登録する動画を減らす。
AVCHD モード：999ファイル以下
MPEG2 TS モード：99ファイル以下
●DVDの作成時は、保存するプレイリストを減らす。</td></tr>
<tr><td>プレイリストに登録されているシーンが存在しません</td><td>●プレイリストを削除し、作り直す。</td></tr>
<tr><td>どちらかの映像コードを抜いてください</td><td>●（GZ-HD40のみ）本機またはエブリオドックの一方から、AVコードとD端子ケーブルを抜く。</td></tr>
</table>

こんな表示が…（つづき）

こんな表示	ここを確かめてください
使用済みのディスクです	●DVDライターのディスクを入れ替える。（DVD-RWディスクは、初期化できます。）
初期化に失敗しました	●DVDライターのディスクを入れ替える。
ファイナライズ失敗しました	●DVDライターのディスクを入れ替える。
非対応のフォーマットです	①本機から外付けHDDを取りはずし、パソコンに接続して大切なファイルが入っていないことを確認する。 ②外付けHDDを本機に接続し、メニューの「フォーマット」を選ぶ。（外付けHDDのファイルが、すべて削除されます。）
🎥AVCHD ファイルがありません	●静止画のDVDの場合、モードスイッチを📷に合わせる。 ●動画のDVDの場合、基本設定メニューで「ストリーム形式」を「MPEG-2 TS」にする。
🎥MPEG-2 TS ファイルがありません	●静止画のDVDの場合、モードスイッチを📷に合わせる。 ●動画のDVDの場合、基本設定メニューで「ストリーム形式」を「AVCHD」にする。
📷 ファイルがありません	●静止画が記録されていないので、モードスイッチを🎥に合わせる。
ディスクを入れてください ディスクを入れ替えてください	●DVDライターのトレーを開け、DVDを確認して置き直し、トレーを閉める。

付属ソフトで困ったときは…

付属のソフト(P.11)の操作などで困ったときは、下記へお問い合わせください。
(パソコン本体の操作がわからないときは、パソコンの取扱説明書をご覧ください)

「CyberLink BD Solution」と「QuickTime Component for Everio」のお問い合わせ先

サイバーリンク株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川5-6-27
ファーニスビル5階

■ご連絡いただきたい内容

- 登録されたCD-key
  「JH5556G588F54123」
- パソコンのOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:0570-080-110
(ナビダイヤルが使用できない場合)
03-5977-7530

受付時間:月～金
10:00～13:00/
14:00～17:00
(祝日、弊社指定の休業日を除く)

インターネットでの問い合わせ

http://jp.cyberlink.com/support/

●ご質問いただく前に、サポートページの「よくあるご質問とその答え」をご覧ください。

「フォト・ナビゲーター」のお問い合わせ先

日本ビクター株式会社

DVご相談窓口

■ご連絡いただきたい内容

- パソコン(Windows)のOSバージョン
  例:Windows XP
- 問題が発生したときの詳しい状況

■お問い合わせ方法

電話での問い合わせ

電話番号:045-450-2770

インターネットでの問い合わせ

http://www.victor.co.jp/

●ご質問の内容によっては回答までにお時間がかかることがありますので、あらかじめご了承ください。なお弊社では、お使いのパソコンについての基本的な操作方法、OS、ほかのアプリケーション、ドライバの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

●ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて(P.102)

■対応する記録型光学ドライブのご確認(Windows)

●記録型DVDドライブ

http://jp.cyberlink.com/jpn/products/powerproducer/4/comjp6.jsp

●記録型ブルーレイドライブ

http://jp.cyberlink.com/jpn/products/powerproducer/4/comjp7.jsp

仕様

一般		
電源	ACアダプター使用時　：DC11V バッテリー使用時　：DC7.2V	
消費電力	6.6W（モニターバックライト「標準」の場合）	
外形寸法（mm）	GZ-HD40	73mm×68mm×123mm （幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
	GZ-HD30	71mm×68mm×123mm （幅×高さ×奥行き：グリップベルトを含まず）
質量	GZ-HD40	本体　：約455g（グリップベルトを含む） 撮影時：約540g（バッテリーBN-VF815、グリップベルトを含む）
	GZ-HD30	本体　：約440g（グリップベルトを含む） 撮影時：約525g（バッテリーBN-VF815、グリップベルトを含む）
動作環境	許容動作温度：0℃～40℃、許容保存温度：－20℃～50℃ 許容相対湿度：35%～80%	

カメラ部・液晶画面部	
映像素子	1/3型268万画素（CMOS） 撮像エリア：135万画素（動画）、166万画素（静止画）
レンズ	F1.8～F2.2、f=4.5mm～45.0mm （35mmカメラ換算　動画　：50.0mm～500mm 静止画：39.5mm～395mm）
フィルター径	43mm（ネジピッチ0.75mm）
最低照度	7ルクス（シャッタースピード：1/30） 1ルクス（ナイトアイモード）
液晶画面	2.8型、20.7万画素、ポリシリコンカラー液晶
ライト	推奨撮影距離：1.5m以下、LEDタイプ
ズーム	光学ズーム10倍まで、デジタルズーム200倍まで 再生時5倍まで

内蔵ハードディスク部		
容量	GZ-HD40	120GB
	GZ-HD30	80GB

時計用電池	
種類	二次電池（内蔵充電式）

●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

端子部	
AV端子	映像：アナログ出力 音声：ステレオ、 アナログ出力
コンポーネント端子	Y Pb Prコンポーネント出力
HDMI端子	HDMI™(V.1.3 x.v.Color™対応)
USB端子	ミニUSB-ABタイプ、USB2.0
ヘッドホン端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ
マイク端子	φ3.5mmミニジャック：ステレオ、プラグインパワー対応

エブリオドック(GZ-HD40のみ)	
AV端子	(端子部に同じ)
コンポーネント端子	(端子部に同じ)
USB端子	(端子部に同じ)
i.LINK端子	4ピン(i.LINK／IEEE1394準拠)、出力用

ACアダプター(AP-V14)	
電源	AC 100V−240V、50Hz／60Hz
出力	DC 11V、1A
許容動作温度	0℃〜40℃(充電時は10℃〜35℃)
外形寸法(mm)	50×27×71(幅×高さ×奥行き)(コードとACプラグを含まず)
質量	約100g

リモコン(RM-V751)	
種類	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年(使用頻度により変わる)
動作距離	約5m(正面軸上)
許容動作温度	0℃〜40℃
外形寸法(mm)	42×14.5×91(幅×高さ×奥行き)
質量	約30g(ボタン電池を含む)

バッテリー(BN-VF815)	
電圧	DC 7.2V
容量	1460mAh
外形寸法(mm)	30.5×32.5×52(幅×高さ×奥行き)
質量	約85g

静止画	
記録方式	JPEG準拠
拡張子	.JPG
画像サイズ	(P.98)
画質	ファイン/スタンダード
記録メディア	ハードディスク(内蔵)、microSDカード(市販)

仕様（つづき）

動画	
信号方式	デジタルハイビジョン方式
動画記録画素	1080/60i（画面比16:9）

ストリーム形式	（AVCHD AVCHDモード時）	（MPEG2 TS MPEG-2 TSモード時）
録画/再生方式	AVCHD規格準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：Dolby Digital 2ch	SD-VIDEO規格準拠 映像：MPEG-2 TS 音声：MPEG-1 Layer2
解像度	1920×1080i	1920×1080i（FHD） 1440×1080i（1440 CBR）
画質	XP（平均17Mbps VBR） SP（平均12Mbps VBR） EP（平均5Mbps VBR）	FHD（平均26.6Mbps VBR） 1440 CBR（固定27Mbps CBR）
音質	48kHz、256kbps	48kHz、384kbps
記録メディア	ハードディスク（内蔵）、 microSDカード（市販）	ハードディスク（内蔵）

※AVCHDモードとMPEG-2 TSモードについて➡（P.6）

静止画の撮影可能枚数の目安（単位：枚）

			microSDカード			
画面比	画像サイズ	画質	1GB	2GB	4GB	8GB
4:3	1824×1368	ファイン	880	1790	3580	7180
		スタンダード	1370	2770	5540	9999
	1440×1080	ファイン	1370	2770	5540	9999
		スタンダード	2160	4360	8700	9999
	640×480	ファイン	6720	9999	9999	9999
		スタンダード	9999	9999	9999	9999
16:9	2432×1368	ファイン	670	1350	2700	5420
		スタンダード	1040	2100	4200	8420
	1920×1080	ファイン	1040	2100	4200	8420
		スタンダード	1630	3210	6410	9999

※HDDには（画像サイズや画質などに関わらず）9999枚まで撮影できます。

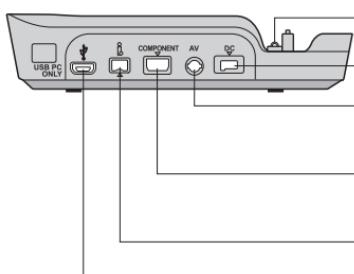
動画の撮影可能時間の目安

形式	解像度	画質	HDD GZ-HD40	HDD GZ-HD30	microSDカード 4GB	microSDカード 8GB
AVC HD	1920×1080i	XP XP	15時間	10時間	30分	60分
AVC HD	1920×1080i	SP SP	21時間	14時間	44分	88分
AVC HD	1920×1080i	EP EP	50時間	33時間	100分	200分
MPEG2 TS	1920×1080i	FHD FHD	10時間	6時間	−	−
MPEG2 TS	1440×1080i	1440 CBR 1440 CBR	10時間	6時間	−	−

※撮影時間は目安です。撮影するシーンによって短くなる場合があります。

撮影時間の目安(バッテリー使用時)

バッテリー	実撮影時間	連続撮影時間
BN-VF808	20分	40分
BN-VF815	45分	1時間25分
BN-VF823	1時間5分	2時間10分
VU-V840KIT	2時間5分	4時間5分
VU-V856KIT	2時間55分	5時間45分

※ライト「切」、モニターバックライト「標準」のときの値です。
※実撮影時間は、ズームの使用や、撮影と停止の繰り返しなどで短くなります。
(撮影予定時間の約3倍分を用意することをおすすめします)
※充分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。
(新しいものに交換してください)

エブリオドックの端子(GZ-HD40のみ)

技術情報

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

バッテリーの処分について

●バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。

・お問い合わせ: 有限責任中間法人 JBRC　http://www.jbrc.net/hp/

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

著作権について

・録画・撮影・録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。

・鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。

他社製品の登録商標と商標について

・"AVCHD"および"AVCHD"ロゴは、松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。

・HDMI(High-Definition Multimedia Interface)と HDMI™ HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE は、HDMI Licensing, LLCの商標です。

・i.LINKは、IEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様です。

・i.LINKと i は商標です。

・"x.v.Color"と x.v.Color は商標です。

・本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

・Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

・その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

さくいん

英字

AUTO/MANUAL ボタン ･････ 32
AVCHD ････････････････････ 6
AV 端子 ･･････････････････ 19
DC 端子 ･･････････････19, 30
DVD ライター ･･････････････ 49
D 端子 ････････････････････ 44
HDMI 端子 ････････････19, 44
HDV 機器 ･････････････････ 63
microSD カード ･････････15, 29
MPEG-2 TS ････････････････ 6

あ行

インデックス ･･････････････ 38
エブリオドック ････････････ 31
オートフォーカス ･･････････ 42
音量 ･････････････････････ 36

か行

回転 ･････････････････････ 37
画面の開閉 ･･･････････････ 32
逆光補正 ･････････････････ 22
切換ボタン ･･･････････････ 32
グループ ･････････････････ 38
コンポーネント端子 ････････ 19

さ行

再生ズーム ･･･････････････ 24
削除 ･･････････････ 36, 38, 78
残量時間 ･････････････････ 35
時刻 ･････････････････････ 77
充電 ･････････････････････ 30
ズーム ･･･････････････････ 34
スポット補正 ･････････････ 22
スライドショー ････････････ 37
静止画モード ･････････････ 33
外付型ハードディスク ･･････ 60

た行

ダイジェスト再生 ･･････････ 58
ダイレクト DVD ･･･････････ 51
電源ボタン ･･･････････････ 32
動画モード ･･･････････････ 33
時計 ･････････････････････ 77

は行

バッテリー ･･･････････････ 15
バッテリー残量 ････････････ 31
日付検索 ･････････････････ 38
ピント ･･･････････････････ 42
ファイル情報 ･････････････ 21
フォーカスアシスト ････････ 42
プレイリスト ･･････････46, 65
プログラム AE ････････････ 40
分割 ･････････････････････ 79
ヘッドホン端子 ････････････ 19

ま行

マイク端子 ･･･････････････ 19
マニュアルフォーカス ･･････ 42
モードスイッチ ････････････ 32

ら行

ライト ･･･････････････････ 22
リセット ･････････････････ 90
リモコン ･･････････････24, 28
連写 ･････････････････････ 71
レンズカバー ･････････････ 32

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「故障かな?!と思ったら…」（P.84）にしたがって、まずご確認を。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーとACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
本機や付属品、microSDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ハードディスクムービー
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理の際は、取扱説明書の右ページをコピーしたものに、必要事項をご記入の上、本機に添付してください。

保証書（別添付）

必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

性能部品の最低保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点や修理に関するご相談は…

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口案内」（別紙）にご相談ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

日本ビクター株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

同意書

データのお取り扱いについて

当社は、不具合を改善するため、お客様からお預りした記録媒体内のデータを必要最小限の範囲で確認いたします。しかし、データを複製することや、修理担当者以外の者が閲覧することはありません。

お預かりした商品につきましては細心の注意を払ってお取り扱いします。しかし、修理過程でデータが消失する場合や、故障の状態によってHDD（ハードディスク）の初期化（フォーマット）や交換が必要となる場合があります。そのため、事前にバックアップしておかれることをおすすめします。

■商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
■万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
■品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

以上の「データのお取り扱いについて」に関しまして、ご理解とご同意をお願いいたします。ご同意いただけない場合、不具合箇所によっては修理できないままお返しすることがあります。あらかじめご了承ください。

どちらかに✓マークをお願いします。

□同意する　□同意しない

日付：　　年　　月　　日

ご署名：

修理や点検を依頼されるときは、この同意書のコピーにご記入のうえ、商品に添付してください。

日本ビクター株式会社
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

製品についてのご相談・修理のご依頼

まず、お買い上げの販売店にご相談ください

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は…

修理に関するご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください

技術的なご相談

DVご相談窓口

電話：(045) 450-2770

お買い物情報や全般的なご相談

お客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-2828-17

●携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話：(045) 450-8950
FAX：(045) 450-2275

〒221-8528
横浜市神奈川区守屋町3-12

愛情点検	●長年お使いのムービーの点検をぜひ!
	このような症状はありませんか ●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある → ご使用を中止 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

M8H5 0508MNH-HT-VM